

Social  
Business  
Project



主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会  
パンフレット制作 株式会社アイブレーン

SBP交流フェアの詳しい情報はホームページをご覧ください。  
<https://mirai-otona.jp> 「未来の大人」で検索

follow me!!



高校生の“伸びしろ”は、  
そのまま日本の“伸びしろ”だ！

10th

第10回 全国高校生  
SBP交流フェア  
Social Business Project

～学生の学生による学生のための祭典～

プログラム1

SBPアワード  
オンライン発表会  
(チャレンジ・プレミア)

2025年  
7月26日(土)・27日(日)

プログラム2

SBPアワード  
代表発表会、  
実践発表交流会、  
ワークショップ、表彰式

2025年  
8月19日(火)・20日(水)

プログラム3

SBP  
プレミアムステージ  
(SBPモデル事例発表)

2025年 9月6日(土)



Social  
Business  
Project

## 未来の大人と未来を創る！

記念すべき「第10回全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、それぞれの取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、2013年より毎年1回実施してまいりました。

開催当初は、本フェアの社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などの課題があり、2013年からの3年間は開催の意義を問いながら、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」をスタートさせその必要性等の実証を行いました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、2016年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。現在は、皇學館大学のご理解・ご支援により全国から本場に多くの高校生たちが伊勢の地に集結し、交流・研鑽を行っています。

そして嬉しいことに、文部科学省をはじめとする多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、今回も第10回として開催する運びとなりました。今回はスペシャル企画として、沖縄県西原町のSBPチーム「NS<sup>2</sup>BP」の素晴らしい創作演劇を鑑賞していただく予定で、今回もきっと素敵な大会になると確信しています。

本フェアは、三重県の相可高校生産経済科&食物調理科・南伊勢高校・松阪商業高校の生徒たちが中心となり企画・進行などの運営を行います。さらにその高校生達を、皇學館大学の学生達が裏方で支えるという“生徒や学生主体のフェア”です。

『高校生の“伸びしろ”は、そのまま日本の“伸びしろ”だ！』という言葉に胸に、私たちは地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を、全員全力で温かく育てていきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くの“カッコいい大人たち”に感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

## SBPとは

SBPは「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。この地域に根ざした取り組みが全国に広がっており、全国高校生SBP交流フェアにもこれまでに100以上の団体や高校が参加しています。



### 主催 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

委員長	岸川 政之	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部 教授 百五銀行 公務部 シニアアドバイザー
委員	中野 拓治	琉球大学農学部 客員教授
委員	新田 均	皇學館大学 特別教授
委員	杉谷 悟	三重県立相可高等学校 校長
委員	大原 淳司	三重県立南伊勢高等学校 校長
委員	錦織 厚史	三重県立松阪商業高等学校 校長
委員	山北 正也	三重県教育委員会高校教育課 課長
委員	山岡 茂治	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 副代表・理事

### 後援

文部科学省、内閣府(地方創生推進事務局)、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、度会町、学校法人皇學館大学、学校法人メイ・ウシヤマ学園、ハリウッド大学院大学、伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、三重ニュービジネス協議会

### 協力

株式会社アイブレン、株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社グラノ24K、学校法人皇學館大学、公益財団法人修養団、チューリッヒ生命保険株式会社、国立大学法人東京学芸大学、特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハビタの、鳴海製陶株式会社、NEXCO 中日本サービス株式会社、BS よしもと株式会社、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、株式会社フォーバル、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社ベネッセコーポレーション、三重県立伊勢工業高校、三重執鬼株式会社、三重ナルミ株式会社、三井化学株式会社、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ 他

### 広報

マスコミ(TV、新聞等)への報道発表やフェア当日の取材依頼等に加えて、文部科学省のメールマガジン等への掲載などによる広報を実施

### 記録

映像・アニメーションスタジオ イエンスの塔 代表 佐藤 創  
山の写真館 PHOTOGRAPHER 永作 佳紀

### 企画・運営 スタッフ

- 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト  
岸川 政之、北川 清生、江角 悠太、太田 憲明、松浦 茂之、  
橋本 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓末、阪井 宣行、南 直好、  
大原 颯太、早川 明宏、岩脇 幸哉、山口 隼人、西村 重哉、  
中村 武弘、村林 新吾、西根 正子、中沢 仁、岸川 晃大、  
岩城 裕子、佐藤 創、山岡 茂治
- 三重県立相可高等学校 生産経済科  
太田 風咲、長岡 明日香、西村 美咲、宮崎 咲妃、  
加藤 実優、橘 清榮、玉木 ひな、細木 優亜
- 三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP  
加藤 愛梨、中村 柊、山下 和毅
- 三重県立松阪商業高校 松阪商業 SBP  
北山 真音、東谷 春枝、永田 柊椰、道前 衣咲美、  
出口 京佳、伊藤 和奏、センダナ ウィリアム、  
センダナ マシュー、竹山 怜、山本 龍、鈴木 結太

- 学校法人八木学園 英心高等学校  
片山 穂花、江崎 里紗、宮脇 里空、山岡 由史、  
相原 音葉、加藤 優希菜、高山 詩子、中嶋 花穂
- 皇學館大学 大学生 SBP 研究部会  
森川 堅心、山内 一真、山川 流樹、山田 隼斗、  
山本 大貴、伊藤 勝基、川島 秀之、後藤 悠哉、  
小筆 薫、齋藤 成成、高山 愛琉、立花 悠人、  
辻 雄輝、中川 脩斗、中村 一颯、西村 亮吾、  
野田 旺助、野田 翔夢、古川 崇真、三宅 瑠美奈、  
籠井 悠剛、勝田 真生、西塔 美玲、辻岡 航、  
山本 楓真、大道 健矢、下 歩実、永田 媛仁、  
野口 智旦、関本あゆ、中村 遥人
- 皇學館大学 学生スタッフ  
横田 昌秀、前川 一樹、國分 陽向、上野 仁惟留、  
深世古 侑樹、西川 輝、大市 彩乃、宮本 衣音、  
小林 咲貴、大林 那名

# 第10回 全国高校生SBP交流フェア

## ～学生の学生による学生のための祭典～

<b>プログラム1</b> <b>SBP アワード オンライン発表会</b> <small>(チャレンジ・プレミア)</small> 2025 7月26日(土)・27日(日)	<b>プログラム2</b> <b>SBPアワード 代表発表会、 実践発表交流会、ワークショップ、表彰式</b> 2025 8月19日(火)・20日(水)	<b>プログラム3</b> <b>SBP プレミアステージ</b> <small>(SBP モデル事例発表)</small> 2025 9月6日(土)
--	--	--

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”しながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。



色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取組の完成度等を評価します。

### 取組発表について 書類審査 → オンライン発表会 → 代表発表会

チャレンジ部門では事前の書類審査を通過した最大24団体がオンライン発表会に出場し、プレミア部門では文部科学大臣賞を受賞した団体がオンライン発表会に出場します。それぞれオンラインでプレゼンテーション・質疑応答を行い、その中から代表発表会に参加するチャレンジ部門6団体とプレミア部門1団体選ばれます。

### 成績評価について 『文部科学大臣賞』『三重県知事賞』『審査員特別賞』

チャレンジ部門では全参加団体に対し『極』(90点以上)、『輝』(75点以上)、『雅』(50点以上)の評価を行います。代表発表会では選ばれた6団体から、最も評価が高かった団体に『文部科学大臣賞』、次に『三重県知事賞』を授与します。プレミア部門では、さらに継続した高い取り組みとして『金』、『銀』、『銅』の評価を行います。また、両部門で審査員全体での『審査員特別賞』を授与する場合があります。

### 各特別賞について 審査員・協賛企業がそれぞれ1団体を選出

SBPアワードに参加したすべての団体から、それぞれの基準・観点で選ばれた団体に次表の各賞を授与します。賞の選定は協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとします。



### 第10回全国高校生SBP交流フェア SBPアワード 審査委員長

No	氏名	所属等	特別賞
1	荒木 康行	株式会社ちとせ 特別顧問	—

### SBPアワード チャレンジ部門 審査委員

SBPアワード チャレンジ部門 オンライン発表会および代表発表会の審査をおこないます。

No	氏名	所属等	特別賞
1	梅澤 孝史	株式会社百五銀行 公務部 課長	百五銀行賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー (元TBS番組プロデューサー)	角田陽一郎賞
3	小村 俊平	株式会社ベネッセホールディングス 経営企画推進本部 副本部長 / ベネッセ教育総合研究所 統括責任者・教育イノベーションセンター長	ベネッセ賞
4	佐藤 昭宏	ベネッセ教育総合研究所 主席研究員	—
5	田口 恭平	アドビ株式会社 プロフェッショナルサービス事業本部 サービスセールス統括本部 統括部長 執行役員	アドビ賞
6	多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー	三井化学賞
7	鉄矢 悦朗	東京学芸大学 教授	東京学芸大学賞
8	徳野 貞雄	徳野スクール・農村研究所 主催 / 熊本大学 名誉教授	徳野賞
9	中沢 洋子	特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハビタの 代表理事	ハビタの賞
10	福田 圭	有限会社わらしべ 顧問	たいやきわらしべ賞
11	藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
12	山北 正也	三重県教育委員会 高校教育課 課長 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員)	—
13	安田 有紀	三重県教育委員会 高校教育課 課長補佐	—
14	西村 亮吾	皇學館大学 大学生SBP研究部会 現代日本社会学部 3年生	大学生SBP賞
15	下塔 美玲	皇學館大学 大学生SBP研究部会 現代日本社会学部 2年生	
16	下 歩実	皇學館大学 大学生SBP研究部会 教育学部 1年生	
17	永田 媛仁	皇學館大学 大学生SBP研究部会 教育学部 1年生	

※敬称略、50音順

### 特別賞審査員

参加団体の取り組みを各所属企業などの独自の基準に基づき評価をします。

No	氏名	所属等	特別賞
1	東 孝浩	三重ナルミ株式会社 取締役社長	NARUMI賞
2	高橋 真	BSよしもと株式会社 地域推進・事業局 局長	BSよしもと賞
3	相川 貴志	株式会社フォーバル 企業ドクター開発センター 開発部 部長	フォーバル賞
4	太田 裕二	みらいこ株式会社 取締役	みらいこ賞
5	大原 颯太	株式会社アイブレーション	アイブレーション賞
6	海住 禎人	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
7	河合 康典	NEXCO 中日本サービス株式会社 総務企画部 専門部長	NEXCO中日本サービス賞
8	小役丸 秀一	株式会社グラノ 24K 代表取締役	ぶどうの樹賞
9	武田 数宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所長	SYD賞
10	寺田 忍	三重執鬼株式会社 代表取締役	三重執鬼賞
11	濱田 典保	株式会社赤福 顧問	赤福賞
12	山本 城伸	株式会社赤福 総務課長	
13	藤井 恭子	皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学 現代日本社会学部賞
14	南 裕之	伊勢市 産業観光部 商工労政課 副参事兼商工係長	伊勢市長賞
15	前川 一樹	皇學館大学 現代日本社会学部 3年	皇學館大学 学生スタッフ賞
16	西川 輝	皇學館大学 現代日本社会学部 2年	

※敬称略、50音順

### SBPアワード プレミア部門 審査委員

SBPアワード プレミア部門の評価をおこないます。

No	氏名	所属等	特別賞
1	新田 均	皇學館大学 特別教授	皇學館大学賞
2	小山 巧	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 顧問	—
3	太田 憲明	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 理事 / 株式会社 On-Co 取締役	—
4	岩城 裕子	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 業務推進担当	—

※敬称略、50音順

## 実践発表交流会

8月19日(火) 17:15 ~ 18:45

これまでの『夜の市』をベースに、総合体育館や周辺にて高校生の様々な取り組みを発表する実践の場として開催されます。開発した商品の販売や紹介、パフォーマンスの披露など、お互いの交流を深め、刺激を受け合う場となります。



## プログラム

- 16:00 ~ 夕食・準備 (17:15 会場集合)
- 17:15 ~ 開会式 (開会のあいさつ)
- 17:15 ~ 18:30 各団体による1分間PRタイム  
フリータイム
- 18:30 閉会式 (閉会のあいさつ)
- 18:30 ~ 片付け・記念講堂移動  
(19:00 より記念講演)

## 会場について

メインステージにて司会進行、1分間PRタイムなどのパフォーマンスをおこないます。出展ブース①~⑭にて各団体による商品販売や取組出展があります。見学席(2階)も休憩スペースとして利用可能です。



## 第10回記念公演

8月19日(火) 19:00 ~ 20:30

沖縄県西原町 NS<sup>2</sup>BP の皆さん、小中高生がプロデュースした創作演劇を記念講演として上演頂きます。運玉森のてっぺんにある樹齢4百年を越すさわふじに宿る妖精さわりんが、大切な友達でもある運玉義留(ウンタマギルー)(通称ギルー)についてお話しする物語りです。



## ワークショップ

8月20日(水) 9:00 ~ 10:45

高校生の活動を応援していただいている企業や団体、大学生らによって開催されるワークショップです。それぞれの専門性に特化した、映像・動画・SDGs・レクリエーション・ビジネスといったプロの講師によってワークショップがおこなわれます。



### WS 1 Sの絆焼きを焼いてみよう!

提供 有限会社わらしべ 会場 倉陵会館(学生食堂)



6秒に1枚売れているたい焼き店直伝の、美味しい焼き方・お客様への渡し方を学ぼう! 型、生地、環境によって変わる焼き方。いつでも美味しいものを焼けるよう、日頃の疑問をたい焼き店主にぶつけ、質問責めにするもよし、中身(フィリング)を変えて新メニュー開発をするもよし。プロの焼き方、こだわりから学び、Sの絆焼きをますますバージョンアップさせましょう!

### WS 2 世界でひとつのオンリーワンマグ作り

提供 鳴海製陶株式会社・三重ナルミ株式会社

会場 7号館1階 712教室



世界の5つ星ホテルで使われているNARUMI ボーンチャイナの秘密を解き明かしていきます。そしてNARUMI ボーンチャイナの素地に転写紙を貼ってあなただけのオンリーワンのマグカップを創って頂けます。

### WS 3 レクリエーションをテーマにしたコミュニケーションWS

提供 皇學館大学生×一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

会場 7号館3階 731教室



皇學館大学の学生スタッフが考えたレクリエーションを交えながらコミュニケーションを学びます。

### WS 4 カードゲームから学ぶSBPの考え方

提供 特定非営利活動法人 津市 NPO サポートセンター

会場 7号館3階 732教室



SBPの考え方をもとに開発中の「SBPカードゲーム」をみんなで体験してみよう!

### WS 5 デザインのプロに学ぶ缶バッチ作り

提供 株式会社アイブレーション

会場 7号館1階 711教室



缶バッチ作成を通してデザインを学ぼう! 当社はこれまでの全国高校生SBP交流フェアのパンフレットのデザイン・印刷を担当してきました。みなさんの活動の中で商品開発やPRなどで活用できるようなデザインのコツを伝授します!

### WS 6 SBPセミナー

提供 (一社)未来の大人応援プロジェクト 代表 岸川 政之

会場 7号館3階 733教室



SBPの基本的な内容から、全国の最新事例までSBPについていろいろな話をさせていただきます。生徒たちがワークショップに参加している様子を見に行かれると思いますので出入りは自由です。

## 出展団体

全14団体が出展・発表をおこないます。

### ●商品販売・取組出展・パフォーマンス・映像披露

出展番号	団体	出展内容
①	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	ブルーベリーブッチャジェラート、仙臺サイダー等の販売
②	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	学校の所在する島田市の銘産品の紹介や販売、緑日の開催をします。
③	沖縄県西原町 NS <sup>2</sup> BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	「万能! サトウキビから取っタレ!」、町産品の販売
④	明星高等学校 明星高校 MIF	フェアトレードアイスの販売(他にもフェアトレード商品の販売を予定)
⑤	富山県立滑川高等学校 薬学部	オリジナルクラフトコーラ等の販売
⑥	福井県立若狭高等学校 E-space	鯖の缶詰など地元小浜の特産品の販売
⑦	中部大学春日丘高等学校 中部大学春日丘高校インターアクトクラブ	障がい者支援のクッキーやフィナンシェ、東北支援商品のハチミツなどのチャリティー物品販売
⑧	三重県立相可高等学校 NPO 法人植える美 ing	今までに開発したコスメやお茶、バジルオイルの販売
⑨	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	梅あられ・梅やきとりのたれ・梅干し星の販売
⑩	福島県立ふたば未来高等学校 社会起業部 カフェチーム	コーヒーのドリップバック、社会企業部製造班作成の焼き菓子の販売
⑪	愛媛県松野町 一般社団法人マツノイズムプロジェクト	自分たちが作成するセレクトギフトの中に入っているふるさとの商品(主に食品)の販売
⑫	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	晩柑シロップの販売
⑬	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業高校 SBP	松阪市の特産品、お菓子、お茶などの販売
⑭	伊勢度会ロータリークラブ	オリジナル缶バッチ制作

## プログラム1 SBP アワード オンライン発表会

SBP アワード オンライン発表会に出場する参加団体が、チャレンジ部門のA・B・Cの3つのグループとプレミア部門に分かれ、オンラインで取り組みを発表します。発表の様子はYoutubeのライブ配信にて視聴できます。

### 7月26日(土)・7月27日(日) チャレンジ部門/プレミア部門 オンライン発表会

#### プログラム1 開会式

- 発表団体は時間までに「SBP アワード オンライン発表会 会場」に入室する
- 挨拶・審査委員・発表団体紹介・ルール説明など

#### SBP アワード オンライン発表会 チャレンジ部門/プレミア部門 発表

- 参加団体の発表者が順番に発表を行う(5分/10分)
- 各発表が終わり次第、審査委員の質疑応答を実施(5分/10分)

#### プログラム1 閉会式

- 講評(各グループの審査代表)
- A グループ…バラエティプロデューサー(元TBS番組プロデューサー) 角田 陽一郎
- B グループ…三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 グループリーダー 多田 祐美
- C グループ…株式会社日本総合研究所 主席研究員 藤谷 浩介
- P グループ…皇學館大学 特別教授 新田 均



グループ	開会式	発表	閉会式
チャレンジ部門 グループA	7/26(土)	9:00	9:30
チャレンジ部門 グループB		13:30	14:00
チャレンジ部門 グループC	7/27(日)	9:00	9:30
プレミア部門 グループP		14:00	14:30

## プログラム2 SBP アワード 代表発表会・実践発表交流会・記念講演・ワークショップ・表彰式

### 8月19日(火) SBP アワード 代表発表会、実践発表交流会、記念講演

SBP アワード 代表発表会(皇學館大学の講堂にて取組発表)をおこないます。その後、「実践発表交流会」の中で参加団体の取組(商品の販売や作品発表)を発表しながら交流をおこない、第10回大会記念講演を鑑賞します。

#### 11:45～ 受付開始【会場】皇學館大学 記念講堂入り口(ロビー)

- 宇治山田駅からバスを用意(公共交通機関利用時) 11:00、11:30、12:00を予定
- 受付終了後、荷物を預け、記念講堂へ移動
- すべての荷物に荷札を付ける 青の荷札:修養団へ配送(バスに積み込む)、白の荷札:配送無し(ロビーの指定場所へ)



#### 12:45～ オープニングセレモニー【会場】記念講堂

- SBP マッピング 三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP ×皇學館大学 大学生 SBP 研究部会

#### 13:00～ プログラム2 開会式【会場】記念講堂

- 主催者代表挨拶 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之
- 後援団体代表挨拶 皇學館大学 学長 齋藤 平
- 審査委員紹介・運営スタッフ紹介、予定説明、諸連絡など



#### 13:20～ SBP アワード代表発表会(発表10分、質疑応答10分)【会場】記念講堂

- 開会挨拶 文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課 課長補佐 齋藤 陽介
- チャレンジ部門 代表発表会進出の6団体が発表をおこなう(エントリー団体総数:21団体中)



#### 16:00～ SBP アワード代表発表会終了・実践販売交流会準備

- 倉陵会館(学生食堂)にて夕食後、総合体育館へ移動し準備をおこなう
- 審査員は631教室にてSBP アワードの審査を行い、終わり次第実践発表交流会へ合流

#### 17:15～ 実践発表交流会【会場】総合体育館

- (進行:三重県立松阪商業高等学校、(一社)マツノイズムプロジェクト、熊本県立天草拓心高等学校)
- 高校生が司会進行を行い、各団体の1分間PRをおこなう
- 各団体のブース(取組発表、販売など)を設け自由に交流をおこなう



#### 19:00～ 第10回大会記念公演 創作演劇『さわりんと運玉義留(ウインタマギルー)』上演

- 主演 沖縄県西原町 NS<sup>2</sup>BP(沖縄県西原町の小中高生がプロデュース)

#### 20:30～ プログラム2 終了(初日終了)

- (公財)修養団伊勢青少年研修センターや各団体が予約した宿泊施設に移動
- バスの時間:20:40、21:10、21:20(30分ごとに1便を予定)



### 8月20日(水) ワークショップ・SBP セミナー、SBP アワード代表発表会、結果発表・表彰式

協賛企業や団体が高校生のためにワークショップをおこないます。昼食後はSBP アワードのプレミア部門から選ばれた団体の発表をおこない、その後結果発表・表彰式をおこないます。

#### 6:30～ 起床 ※(公財)修養団伊勢青少年研修センター宿泊者の場合

- 朝食(6:30～7:30)、準備ができ次第、宿泊施設を出発 バスの時間:7:30、8:00
- 到着後、前日と同じ場所に荷物を置き、倉陵会館(学生食堂)または7号館へ移動



#### 9:00～ ワークショップ

- 事前に登録した6つのワークショップ(9:00～)の会場に集合
- 引率・審査員・関係者など大人の関係者はワークショップ@SBP セミナーに参加(出入自由)

#### 10:45～ 昼食【会場】倉陵会館(学生食堂)

- ワークショップ終了後、学生食堂へ移動

#### 12:10～ SBP アワード代表発表会 プレミア部門発表【会場】記念講堂

- プレミア部門 代表発表会選出の1団体がSBPのモデルとして発表をおこなう(エントリー団体総数:4団体中)



#### 13:00～ 結果発表・表彰式【会場】記念講堂

- ① SBP アワード・審査員特別賞表彰
- SBP アワード チャレンジ部門「極」「輝」「雅」、プレミア部門「金」「銀」「銅」の表彰をおこなう
- 特別賞の審査員からそれぞれの特別賞の講評・表彰をおこなう



#### 14:10～ ② 審査員交流【会場】倉陵会館(学生食堂)ほか

- 審査員特別賞を授与した審査員と受賞団体がそれぞれ交流をおこなう
- その他の参加団体については大学生や審査員、関係者との交流をおこなう

#### 15:10～ ③ 文部科学大臣賞・三重県知事賞・審査員特別賞表彰

- SBP アワード代表発表会団体から、文部科学大臣賞、三重県知事賞、審査員特別賞の発表・講評・表彰をおこなう
- プログラム3「SBP プレミアステージ」へ出場する団体の発表をおこなう



#### 15:30～ プログラム2 閉会式

- 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 高校生生徒運営委員長 西村 美咲
- 閉会の辞 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之
- 閉会式後、記念撮影

#### 15:45～ 解散(プログラム2 終了)

- 必要な団体にはバスにて駅まで送迎を実施。バスの時間:16:00、16:30

## プログラム3 SBP プレミアステージ

第10回 SBP 交流フェアにて文部科学大臣賞を受賞した1団体、SBP アワードのプレミア部門から1団体、実行委員会推薦として1団体の合計3団体が東京六本木にてSBPのモデルとなる取り組みを発表します。

### 9月6日(土) SBP プレミアステージ

#### 13:00～ プログラム3 開会式【会場】学校法人メイ・ウシヤマ学園ハリウッド大学院大学

- 主催者代表挨拶、来賓紹介、発表団体の紹介

#### 13:30～ プレミアステージ発表(発表10分、質疑応答10分)

- 選出された3団体がSBPのモデルとなる取り組みを発表する

#### 15:00～ 講評・交流

- 講評 第10回 SBP 交流フェア 審査委員長 荒木 康行(株式会社ちとせ 取締役社長)
- 参加団体との交流(後援協賛団体・関係者・審査委員ほか)



#### 16:00～ プログラム3 閉会式

- 閉会挨拶、記念撮影

# 参加校 一覧

## 日本全国から 多くの高校生たちが参加!!

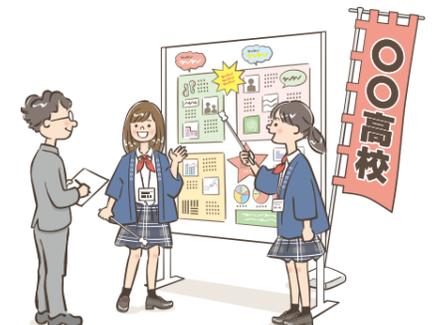


●…交流会出展

	ブロック	参加団体・高等学校名	SBP アワード	実践 発表交流会
1	北海道・東北	五所川原第一高等学校 五一高じゃわめき隊	A-3	
2	北海道・東北	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校 SBP 研究会	B-6	
3	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	A-2	●
4	北海道・東北	高校生地域開発チーム WATS (山形県立新庄北高等学校、山形県立新庄南高等学校)	C-5	
5	北海道・東北	福島県立ふたば未来学園高等学校 社会起業部 カフェチーム	P-2	●
6	関東	明星高等学校 明星高校 MIF	B-2	●
7	中部	富山県立滑川高等学校 薬学部	B-7	●
8	中部	福井県立若狭高等学校 E-space	B-1	●
9	中部	福井県立若狭高等学校 教育×ジェンダープロジェクト	A-1	
10	中部	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	A-4	●
11	中部	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	B-4	●
12	中部	名城大学附属高等学校 名城大学附属高等学校 SBP	B-3	
13	中部	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班	P-3	
14	近畿	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	C-2	
15	近畿	NPO 法人植える美 ing (三重県立相可高等学校)	C-6	●
16	近畿	三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP	A-5	
17	近畿	英心高等学校 英心高校 SBP ゼミ	C-1	
18	近畿	三重県立紀南高等学校 紀南高校地域創造チーム	B-5	
19	近畿	三重県伊勢市 IX コミュニティ 福祉グループ (伊勢学園高等学校・英心高等学校)	C-4	
20	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	C-3	●
21	中国・四国	愛媛県松野町 一般社団法人 マツノイズムプロジェクト	P-4	●
22	九州・沖縄	熊本県立熊本農業高等学校 熊本農業高校養豚プロジェクト	C-7	
23	九州・沖縄	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	P-1	●
24	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS <sup>2</sup> BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	A-6	●
25	コラボレーション	全国高校生 SBP 商社プロジェクト (三重県立松阪商業高等学校・三重県立宇治山田商業高等学校・滋賀県立大津商業高等学校)	A-7	● (松阪商業高校)

### オープン参加団体

- 26 青森県立三沢高等学校 定時制
- 27 長野県高森町 南信州 SBP クラブ
- 28 滋賀県立大津商業高等学校 ソーシャルビジネス講座地域魅力デザイン班
- 29 三重県立四日市商業高等学校 酒商 SBP
- 30 三重県立あけぼの学園高等学校
- 31 セントヨゼフ女子高等学校
- 32 三重県立松阪商業高等学校 松阪商業高校 SBP
- 33 三重県立昂学園高等学校 昂学園 SBP
- 34 三重県立相可高等学校 食物調理科 料理クラブ
- 35 三重県立宇治山田商業高等学校
- 36 佐賀清和高等学校



五所川原第一高等学校

五一高じゃわめき隊

えみたすこーひー



Instagram



Facebook



私たちは、高校の部活動ではなく有志メンバーが集り「地域を学びの場」とすることを合言葉に活動しています。地域を学びのフィールドにすることで様々な方と出会い、私たちがやりたい活動を自分自身で考え実行することで、ヒト・モノ・コトに関わることができると考えています。

SBP 活動では以前行われていた中里高校 SBP が行っていた「S の絆焼き型メバ焼き機」を活用してメバ焼きの復活に取り組みました。また、「OSAGARIBAKO プロジェクト」と題し、地域で使われなくなった衣類や文房具をカンボジアの村へ届ける国際支援も新たに行いました。このような取り組みは私たち高校生の視点からアイデアを出し地域活性化について考え行動しています。そして、地域の方をはじめ多くの方々に私たちの活動に関わっていただくことで地域と繋がっていきけるのではないかと考えます。

これからも主体的に自ら考え行動して少しでも社会が良くなるように頑張りたいです。

青森県立鱒ヶ沢高等学校

鱒ヶ沢高校 SBP 研究会

あふれる想いと力で町に笑顔を届ける



鱒ヶ沢高校 SBP 研究会は、今年で活動 10 年目を迎えました。現在、1 名で活動しています。結成当時の合言葉「鱒ヶ沢町を PR する」を受け継ぎ、活動をしています。

これまで、「0 歳からの SBP」、「地域活性化マン戦隊ショー」、セレクトギフト「鱒の味」製作、「力士くんおやき」販売、静岡県浜松学芸高等学校と協働した「胸キュンプロジェクト」、地元企業の株式会社 CONVEY との「おさかなスーププロジェクト」などのさまざまな取り組みをしてきました。現在、鱒ヶ沢町と KDDI 株式会社と協働でキャッシュレス決済を広める活動をしています。

多くの方々に支援していただきながら、活動を継続しています。感謝の気持ちを忘れず、失敗を恐れず、楽しみながら自分たちのアイデアをどんどん出して、鱒ヶ沢町の活性化をめざして挑戦したいと思います。SBP の交流を通じて、たくさんの方を学びたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

仙台市立仙台商業高等学校

商業情報部

Tomiya Dream!

～生まれかわるまちを目指して～



仙台市立仙台商業高等学校商業情報部は今年で 17 年目を迎えました。私達は、授業で学んだ商業の知識を用いて地域貢献を目指す活動を行っています。地元の企業と協力し、商品開発や新たなビジネスの形を考案して大会で発表する活動などに積極的に取り組んでいます。

私たちは、宮城県内の都市について調べていた際に、富谷市から働き手が流出し富谷市内での特産品の生産などの第一次産業が衰退しているという現状を知り、富谷市の力になりたいと思い活動しています。

そこで、富谷市の特産品であるはちみつと、ブルーベリーを使用したスイーツの商品を「&とみやジェラート」様と共同開発することで、富谷市が掲げる「スイーツによるまちづくり」に貢献しようと考えています。また、ブルーベリーはジュースを製造する際に出てしまう皮を使用することで、富谷市の特産品を余すことなく使用した商品となっています。

山形県立新庄北高等学校、山形県立新庄南高等学校

高校生地域開発チーム WATS

わたしたちが山形県最上地域でビッグバンをおこす!



WATS は、山形県最上地域の高校生が学校の垣根を越えて結成した地域活性化チームです。「地元を盛り上げたい!」という思いで 6 年間活動を継続し、これまでに 32 名が参加。現在は 6 代目として 11 名が商店街を中心に活動しています。

地元の伝統まつりへの参加や市民映画の制作、高校生による高校生のための番組制作などを自ら企画・実施し、商店街ににぎわいをもたらしています。

SBP は今回で 2 回目の発表となります。昨年は地元特産品を使ったスイーツ開発までの道のりを発表しました。今回は開発したスイーツの販路拡大のための取り組みを発表します。地元の商店や大人との交流を通じて、地域に新たな魅力と話題を創出しています。

WATS の活動は、高校生の視点だからこそできる挑戦を大切にしながら、高校生の成長と地域の未来づくりの両立を目指しています。これからも全力で、地元の元気で笑顔を広げていきます!

福島県立ふたば未来学園高等学校

社会起業部 カフェチーム

「変化・交流・居場所」を生み出すカフェ

東日本大震災によって私たちの学校がある双葉郡から人が減ってしまい、地域のコミュニティが薄れてしまいました。復興が進み、少しずつ人は戻ってきていますが、震災以前の状態に戻ることは簡単ではありません。

「地域の交流の場」を求める地域の大人と「地域に関わりたい、地域に貢献したい」と考える高校生の考えが一致し、カフェをオープンさせました。

「ふくしま、ふたば、ふるさと、復興、ふたば未来学園・・・「ふ」から始まる言葉に縁がある私たち。たんぼの綿毛が「ふう」っと、遠くまで飛ぶように、私たちの想いも未来にはばたくように願いを込めて、カフェを訪れた人たちが「ふう」っと一息つけるように、そんな想いから「café ふう」になりました。」

これは私たちの先輩が「café ふう」という名前に込めた思いです。

私たちは先輩から受け継いだ精神や活動を踏襲し「変化・交流・居場所を生み出すカフェ」を目指して活動しています。



富山県立滑川高等学校

薬学部

べっぴんこーらできれいにならんまいけ  
～クラフトコーラ、商品化できました～

滑川高校薬業科は、全国でも珍しい「くすり」を学ぶ学科です。主に薬業科の生徒を中心とした「薬学部」は学科の特色を生かした商品開発に取り組んでいます。

ここ数年は、クラフトコーラに取り組んでいます。クラフトコーラに使われているスパイスやハーブは「生薬」であり、漢方薬の素材としても使われています。それを使ったクラフトコーラは健康志向やオーガニックなど、現代のトレンドを取り入れた健康的な飲み物です。

昨年は製品化に成功し、美肌効果を持つ「べっぴんコーラ」を発売しました。現在はクラフトコーラにあうスイーツの開発も行っています。

クラフトコーラに取り組むようになってからは多くの人とコラボするようになり、マルシェの開催やボランティア活動にも取り組みました。

交流フェアでぜひ、滑川高校薬学部特製のクラフトコーラを手にとってください！



明星高等学校

明星高校 MIF

フェアトレードを府中市から世界へ  
～未来に10%のやさしさを～

こんにちは。私たちは、明星高校 MIF です。私たちは現在、生産者と公正な価格で取引を行うフェアトレードを広めるために、府中市にある東京競馬場や府中駅前でのフェアトレードフェスなど、さまざまな場で啓蒙活動を行っています。

そこでは、地元企業とフェアトレード商品を開発・販売し、地域の活性化を行っています。フェアトレードフェスや東京競馬場での販売などをこれからも毎年定期的に継続して開催し、より多くの人にフェアトレードを知ってもらい、持続可能な消費行動を促すことを目指しています。

また、フェアトレードフェスなどで得た収益は、日頃から私たちを支えてくださっている地元・府中市を持続可能で魅力ある地域にするために、並木として国内唯一の国天然記念物に指定されている、馬場大門のケヤキ並木の保全などにあてる予定です。将来的には府中市が「東京都初のフェアトレードタウン」として認定されることを目標としています。



福井県立若狭高等学校

E-space

小浜を E-space (いいスペース) に!

こんにちは！ E-space です。この団体は私達で5代目になります。地域の方とともに小浜を盛り上げたい！という思いを持った学生のアクションから始まり、「私もやってみたい！」という有志の学生が毎年参加しています。これまでの活動では、コロナ禍の飲食店の店内客の減少と学生の学習スペースが不足しているという課題解決のため、市内の店舗と協力して学生向けに場を開放するという取り組みを中心としてきました。

地域行政とも連携し、駅の待合室の改装に携わるなどの活動も行っています！昨年度はさらに活動内容を広げ、地域の方にご協力いただきながら、小学生対象のキャンドル作りイベントと、県内高校生交流イベントを行いました。

今年度からは定期的に地域密着型イベントを行い、地域との繋がりを深めていながらまちづくりに貢献していきます！



福井県立若狭高等学校

教育×ジェンダープロジェクト

「男らしさ」「女らしさ」ではなく  
「自分らしさ」を大切に!!

皆さんはジェンダーという言葉を知っていますか? 「言葉だけ聞いたことがある!」や「なんとなくの意味なら知っている!」という方が多いと思います。ジェンダーとは、文法的な意味で男性・女性・中性といった差異のことで、社会的な意味で性別にこうであるべきという考え方のことです。私たちは後者の性別による固定概念をなくしたいと考えています。

そこで、私たちは、「男は男」「女は女」といった性別による固定観念にとらわれず、子どもたちが自分の「好き」や「やりたい」を自由に選択できる社会を実現することを目的にこのプロジェクトを企画しました。また、「男らしさ」「女らしさ」ではなく「自分らしさ」を重視し、教員や大人たちにもその意識を持って子どもたちと関わってもらうことで、多様性を尊重する意識を高めていきます。

このプロジェクトを通して、性別によって苦しんでいる子どもを少しでも減らしたいです。



中部大学春日丘高等学校

インターアクトクラブ

パラクティブツアーでインクルーシブ旅行を実現!

みなさんこんにちは! 中部大学春日丘高校インターアクトクラブです。私達は「目の前の人を笑顔に!」をモットーに活動している全国で最大規模のボランティア団体です! 障害のあるないに関わらず全ての人を対象としたボランティア活動を地元の児童施設や高齢者施設、医療施設、地域のイベントなどで行っています。

そんな私達が力を入れている活動の1つがパラクティブツアーなんです! 「パラクティブ」という名前は、「パラ(並んで立つ)」と「アクティブ(活動的な)」の二つの言葉を組み合わせた自ら商標登録を行ったオリジナルの言葉です。

この活動こそが私達が1から考えた障害のある人もない人も全員が楽しめるインクルーシブな旅行なんです! そんなパラクティブツアーですが、私達高校生がボランティアとして自己負担するには金銭的に限界があります。

そんな問題を解決する方法はスピーチでお話しします!



静岡県立島田商業高等学校

地方創生 SHIMASHO

10年後への種まき  
高校生の若さとアイデアで住み続けるまちづくりを目指す!

本校では、志太・榛原地区の商業教育の拠点校として、身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジする教育活動を通して、地域社会で活躍できる生徒の育成を目指しています。

その一環として、「地方創生 SHIMASHO」班では、商業系部活動や課題研究を中心に、地域のお祭りやイベントを通じて、島田を若者の力で元気にしようと考え取り組んでおります。

例年、5月の最終土・日に蓬萊橋で行われた「ぼんぼり祭り」に向けて、実行委員会の方を講師に招いて、蓬萊橋の歴史、ぼんぼり祭りの由来を学ぶとともに、現地の視察も行いました。このように、商業で学んだ知識を活かし、高校生の発想で地方創生に繋げようと様々な活動をしております。

地域イベントにおける企画・運営からの参加、被災地の訪問及び復興支援商品の仕入販売などを行っています。事前学習、蓬萊橋視察を経て、お祭りに向けたぼんぼりの製作やPR、当日の運営補助を行いました。



名城大学附属高等学校

名城大学附属高等学校 SBP

忍びの隠れ家を探し出せ! 空き家改革プラン

このプランは名古屋市の空き家の多さに焦点を当てたプランです。昔と比べ、今の名古屋の空き家の数は増えています。その数の多さからドロボウ天国とも言われているようです。こうした名古屋の問題とともに我々は他の三代都市と比べたときの名古屋の影の薄さに焦点を当てました。この二つのことから我々は空き家を活用し、観光目的となる場所を作ればこの二つの問題を解決できるのではないかと思います。

こうして生まれたプランが「忍の隠れ家」と言うものです。このプランの名前は、この名古屋にある長く壮大な歴史と絡め命名しました。この場所はいわば趣味を堪能する場、名古屋市にある空き家を再活用し、「音楽の間」「車の間」などそれぞれのジャンルだけで集まった建物にします。そこではそれぞれの場所でその趣味を持った人々が趣味を堪能できます。



愛知県立高浜高等学校

地域活動部 SBP 班

感謝を込めて S の恩返し

高浜高校 SBP 班の主な活動は2つです。「S の絆焼き」と「タツヲ焼きプロジェクト」です。

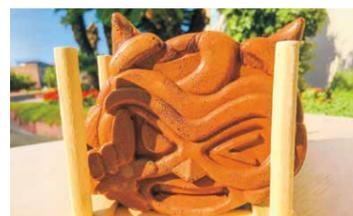
「S の絆焼き」では、地元高浜市の伝統的な瓦産業と自動車産業の技術を組み合わせた、オリジナルデザインが可能ない焼き型を作成し、全国の高校生などに14台を販売してきました。

「タツヲ焼きプロジェクト」では、プロバスケットボールチーム・シーホース三河のキャラクターであるタツヲをデザインしたたい焼きを焼いて、その売り上げで子どもたちをシーホース三河の試合に招待しています。

先日の出店で、タツヲ焼きのシーズン売上「最高記録 8,953 個」を達成できました。シーズン総売り上げ個数は 37,165 個。

1 人でも多くの人を笑顔にすることが私たち高高 (たかこう) SBP の目標です。

10 年前に高高 SBP を立ち上げてくださった先輩たち、高浜高校を応援して下さる地域や企業の皆さまの期待に応えられるよう、これからも高高 SBP を盛り上げていきたいと思ひます！



三重県立相可高等学校

NPO 法人植える美 ing

NPO 法人植える美 ing の誕生から現在まですべて見せます！

相可高校農業クラブでは園芸福祉活動に取り組み幸せな地域づくりに向け取り組んでいます。その活動を行うため NPO 法人植える美 ing を設立しました。その運営を円滑にするため地域の企業や多気町役場と連携し多くの商品開発をしています。

たとえば、地域農産物を使ったコスメ開発に取り組み私たちや連携する企業だけが幸せになるのではなく地域全体が幸せになるような商品開発に成功しました。また、環境問題を考えたバイオマス栽培の研究にも挑戦し、新しい栽培方法や商品開発にも成功しました。他にも宇宙大豆の研究やつぼ草の研究、食物調理科と連携したメニュー開発にも取り組んでいます。

そして、その商品の売り上げにより目標である園芸福祉活動を地域で展開し多くの成果を上げています。また、SBP 交流フェアでは運営を担当し、前身の S セレクション 3 回も含め第 1 回の大会から出場するとともに運営校としても活動しています。



三重高等学校

三重高校ダンス部 SERIOUS FLAVOR

全力青春ダンスで届け！  
未来を笑顔で染めたんでー！

私たちは三重高校の校訓である「真剣味」をもじって「SERIOUS FLAVOR」という団体名で活動しています。(通称シリフレ) 入部者の 7 割は初心者という珍しい部活ですが「楽しむを極める」ということをモットーに日々活動しています。チームワークの良さはもちろん、ノリの良さや他校のダンス部にはない独創的なアイデアを武器に全国大会等で戦っています。シリフレの基本的な活動として全国大会に繋がるような「コンテスト・大会への挑戦」、地元でのお祭りや小中学校等でダンスを披露する「地域での活動」、学園祭、オープンスクールなどの「学校行事での発表」の三つです。

頂いたご依頼はできる限り全て引き受ける「若手芸人スタイル」でバンバシ活動しています！

最近では企業様との PR 動画を企画、振付、撮影、編集まですべてシリフレが行うというご依頼が頻繁に来るようになり、ご好評をいただいております！

私たちのアイデアや青春を感じる爽やかなダンスが、企業様と高校ダンス部を結ぶ新たな架け橋と考え、応募させていただきました！！



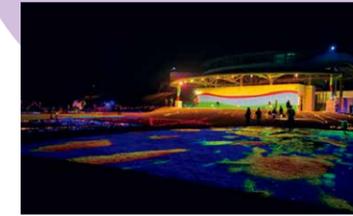
三重県立南伊勢高等学校 度会校舎

南伊勢高校 SBP

—南伊勢から始まった SBP の輪—  
—度会から再び始まるストーリー—

私たち南伊勢高校 度会校舎 SBP は、有志メンバーが集まり、地域活性化のために様々な企画・運営を行っています。特に力を入れているのは、宮リバーわたりでのイルミネーションプロジェクトの運営、プロジェクションマッピング (SBP マッピング) です。マッピング活動の始まりは、2019 年 3 月の卒業式からでした。そこから対面式や文化祭においても、マッピング活動を行っています。この活動を始めて 7 年目になり、プロジェクションマッピングを作るにあたって、見てくれている方々に感動を届けられたらと思ひ作成を続けています。

今年からは度会町を元気に、そして全国の方々に拡げる PR 活動を行っています。度会町役場や度会茶の妖精ティーナと協力しながら、地域活性化や地域の皆さんへの奉仕活動を行っています。具体的には、度会町の魅力を詰め込んだショート動画の作成や地域イベントの運営などのお手伝いをしていく計画です！



英心高等学校

英心高校 SBP ゼミ

ニンニン！  
僕らの未来袋プロジェクト

私たち、英心高校 SBP ゼミは初めての参加になります。  
 私たちの学校は伊勢市という日本でも観光の地として挙げられているところに学校があります。また、伊勢市駅から徒歩3分という立地もあり、たくさんの生徒が通っています。  
 本校は、1年生を中心に「学びなおし」を軸とした学習や1年生から3年生においては、探究活動を授業に取り入れて活動をしております。  
 また、探究活動だけではなく、部活動やサークル活動。そして自ら学びを行っていくゼミ活動も活発に行っています。本校ではたくさんのゼミ活動もあり、その1つとして、このSBPゼミがあります。  
 ゼミを開設するきっかけとしては、本校で今年度より、SBPの授業もスタートし、授業以外でも進んで活動や行動をしたかったためです。  
 学年を超えて、みんなで1つのテーマについて考えを深めることが出来るゼミ活動として放課後を中心に活動しています。



IX コミュニティ

福祉グループ（伊勢学園高等学校、英心高等学校）

たまぶー焼きで子どもたちの未来を焼き上げる！  
～子どもたちが社会と繋がりをあえる居場所を！～

IX コミュニティは、IX ホールディングス株式会社と一般社団法人未来の大人応援プロジェクトが共同し、2023年10月に発足したコミュニティです。伊勢志摩地域（=I）を新しい時代に向けて力強くトランスフォーム（=X 変革・変身）させたいという思いで、地域の若者が、伊勢志摩の地域課題に対し、SBPの実践を行っています！  
 私たち、IX コミュニティ福祉グループは、フリースクールや学童を営む「特定非営利活動法人玉絆」と協働し、そこに子どもたちが SBP を通じて、社会と繋がりをあえるような居場所を創り上げたいと思います。そこで、愛知県立高浜高等学校地域活動部 SBP 班の活動である「Sの絆焼き」を活用し、クラウドファンディングでお金を集め、子どもたちとオリジナルたい焼き「たまぶー焼き」の金型を作成しました。販売を通して子どもたちに様々な学びを提供しているほか、得られた資金でスタディツアーなども計画しています。



三重県立紀南高等学校

紀南高校地域創造チーム

紀州犬の輪プロジェクト  
～天然記念物・紀州犬で町おこし～

私たちの紀南高校の近くには、生徒も利用するJR阿田和駅があります。私たちは、この無人の駅舎が、老朽化によって建て替えられることを知りました。  
 とことで、国の天然記念物である「紀州犬」は、御浜町阪本地区がふるさとと言われています。しかし、近年飼い主が減少して存続の危機になっているにもかかわらず、御浜町には保存と普及をサポートする専門の施設がありません。  
 そこで私たちは、新しい阿田和駅の駅舎を利用して、紀州犬をブランディング化することを考えました。例えば、新しい駅舎に紀州犬の資料を展示したり、猟犬である紀州犬が捕らえたシカやイノシシのジビエを使った料理や、紀州犬のグッズを販売したりする施設を建て、紀州犬を身近に感じられる場とします。  
 そして、その運営は、御浜町と私たちの高校、そして地域ボランティアが受け持ちます。これが実現すれば、駅舎が新たな観光スポットになり、阿田和地区の魅力化につながります。



和歌山県立神島高等学校

商品開発プロジェクト「神島屋」

梅の魅力を伝えたい  
～梅やきとりを全国のみなさんに～

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足してから今年で105年目を迎える学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科があります。平成24年度より、経営科学科における課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように、「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。  
 10年以上続けてきた「紀州南高梅」をPRする活動では、地域内外で年間に25,000袋以上を販売する「梅あられ」やイベント販売で大人気となっており年間に40,000本以上販売している「梅やきとり」など、梅を用いた人気商品や様々なレシピがあります。  
 今回はその中でも「神島屋」として一番大事にしている地域でのイベントで毎回大人気となっている「梅やきとり」を通して全国のみなさんに梅の魅力を伝えていきたいと思っています。



愛媛県松野町

一般社団法人マツノイズムプロジェクト

高校生もふるさとの活性化目指して頑張ってるけん

こんにちは、一般社団法人マツノイズムプロジェクトです。

私たちは高知県との県境にある人口約3400人の愛媛県で一番小さな町で生活しています。そんな松野町は昔、松丸街道を中心に愛媛県と高知県を行き交う旅人やまちの人たちで賑わっていました。しかし、今では人口流出や高齢化に伴い町の活気があまりないように思います。

そして、私たちは中学校を卒業するとみんな町外の高校に進学し、バラバラになってしまいます。つまり、中学卒業と同時に松野町との関係も途絶えてしまいます。そこでもう一度仲間が集まり、町と繋がる場所を作ろうと立ち上がった団体です。

今年度は去年に引き続き「ふるさと納税」に力を入れています。去年の反省点を踏まえ「新・マツノイズム版 ふるさと納税」の作成を行っています。

他にも地域のイベントでのボランティアや夏祭りでの縁日の出店なども行います。

ふるさと大好きやけん私たちが精一杯頑張ります！



熊本県立天草拓心高等学校

天草拓心高校 SBP 部

あまくさの潮風にのせ全国へ発信!!  
～SBPで地域創成を目指した取り組み～

私たちの住む天草は、海に囲まれた歴史と文化のある自然豊かな場所です。近年は、少子高齢化と過疎化が進んでいると問題視されています。そこで、私たちのような高校生が天草に残りたいと思える場所にするために、精一杯活動を行っています。

先輩方の活動を引き継ぎ、あまりん焼き・晩柑フェアに合わせた晩柑シロップの販売・天草の郷土料理をモチーフに、開発をしていた防災用非常食（せんだご汁）の改良などを行っています。これまでの活動を通して、あまりん焼き、晩柑シロップの販売や地域の小学校訪問など、私たちの活動をたくさんの方々知ってもらう機会がありました。これからも、商品開発や販売を行い、天草、全国の方々にSBPの活動を広めていきたいです。

まだ課題は多くありますが、SBP部の部員と苦労を楽しみに変えながら改良や商品開発を前進させます。そして活気あふれる「天草の魅力を発信」していきます。



熊本県立熊本農業高等学校

熊本農業高校養豚プロジェクト

「赤ぶた」で日本の養豚業を救いたい!  
～くまもとの赤で地方創生へ～

私たちの住む熊本県は、豊富な天然資源を活かし、様々な産業が発展してきました。中でも農業ではトマトやあか牛など「赤」を基調とする特産物が生産され、これらの農畜産物は「くまもとの赤」と呼ばれ、全国に流通しているが全国飼養頭数10位である豚の登録がない現状にあります。また、近年の飼料費高騰により、県内の養豚農家の廃業が進んでいます。これらの課題を解決するために活動を行ってきました。

その活動の中で、多くの企業様や農家の方々、またこの取り組みに賛同いただいた多くの方々との出会いがありました。その方々の想いを今回のブランド化で形にすることができたことを本当に嬉しく思っています。

今回開発した「くまもとの赤ぶた」は農家さんに普及して収益になってこそ意味があります。開発に至るまで関わってこられた先輩や先生方の想いを引き継ぎ、これから先の販売活動や販路の確保、普及活動を地域のために積極的に頑張っていきます！



沖縄県西原町

NS<sup>2</sup>BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

これがわったー自慢最高の舞台!  
～演劇でみんなの心をちむどんどん～

私たち NS<sup>2</sup>BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト) は、西原町を愛する高校生たちが活動している団体で、発足12年目を迎えます。

今年度は県内12校から集まった42名の高校生が、地域各種団体をはじめ、地元企業、NS<sup>2</sup>BP卒業生の助けも借りながら日々元気に活動しています。主な活動として、商品開発、国際交流、地域ボランティア、創作演劇など、様々なプロジェクトに取り組んでおり、その活動はすべて「高校生自ら」で企画・運営・開発・活動費の調達などを行っています。

今回上演する創作演劇「さわんと運玉義留」は、若者世代をはじめとする町民全体が地域の課題に関心を持ち、主体的に行動するきっかけを提供することを目指して、年に1回、町内のホールで上演しています。西原の小中高生と一緒に作りあげる、西原町の歴史にも触れることができる、楽しい演劇です！

今回は皇學館大学での上演も行うので、ぜひお楽しみください！



コラボレーション

全国高校生 SBP 商社プロジェクト (三重県立松阪商業高等学校・三重県立宇治山田商業高校・滋賀県立大津商業高等学校)

～商業高校が中心となる総合商社～  
「全国 SBP 商社プロジェクト」

私たちが取り組む「全国 SBP 商社プロジェクト」は、「三重県立松阪商業高校@松阪商人の地元」、「三重県立宇治山田商業高校@伊勢商人の地元」、「滋賀県立大津商業高校@近江商人の地元」の3校の商業高校が協働して取り組んでいます。

この商社プロジェクトは、全国の高校生が作り出す商品にスポットを当て、流通やマーケティング、マネジメント、商品開発、販売などを学び、指導する中で、高校生が地域活性化や地域の経済活動に大きく貢献することを目的としています。

また、農業高校や水産高校は食材、料理や製菓を学ぶ高校は商品開発、デザインを学ぶ高校はパッケージなどのデザイン提案といった様々なジャンルの高校を巻き込んで活動をしていき、多くの高校生たちや素敵な大人たちと協力して、このプロジェクトを進めていきたいと考えています。



三重県立相可高等学校

食物調理科 料理クラブ

めざすは「食のプロフェッショナル」!



相可高校食物調理科では、「食のプロフェッショナル」に求められる「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」「グローバル力」の「5つの力」を3年間で学びます。

今年は学校行事と重なり皆さんに楽しみにして頂いていた食事の提供ができません。その分、高校生レストラン「まごの店」で精一杯おもてなしをさせていただきます。ぜひみなさん、一度食べに来てくださいね!

三重県立

宇治山田商業高等学校

商業で地域を元気に!



私たちは「全国 SBP 商社プロジェクト」に参加し、商業高校の学びの中心の一つである「商売」の実践を通し、マーケティング等を学んでいます。今後は、商業高校だけではなく農業や漁業、デザイン、料理や製菓など様々なことを学ぶ高校も参加してきます。楽しみながら協力しこの取組を進めていきたいとワクワクしています。

滋賀県立大津商業高等学校

ソーシャルビジネス講座  
地域魅力デザイン班

地域課題の解決と、  
地域魅力の発信を目指して!



大津商業高校ソーシャルビジネス講座地域魅力デザイン班は、現在3年生の課題研究で、SBP商社プロジェクトと並行し、地元で廃棄される完熟トマトを活かした商品開発にも挑戦中。今回、皆さまの取り組みを見学し学ばせていただければ幸いです。

三重県立松阪商業高等学校

松阪商業高校 SBP

『現代の松阪商人になる!』



松阪商人を輩出した松阪市にある松商 SBP は、『現代の松阪商人になる!』という目標を掲げ、「つくる」、「つながる」、「まなぶ」の3つを活動の柱として、地域の特産品を活用した商品開発や松阪市内イベント活動に参加して、松阪地域の PR 活動を行っています。

青森県立三沢高等学校定時制

三沢高校 三沢の魅力発信隊

三沢の魅力発信隊!



夜間定時制である本校は、限られた時間で地域貢献に繋がる活動をしようと取り組んでいます。まずは自分達が三沢の魅力を体感して、ちらしや看板、SNSで広く発信していきます!また、特産品を活用した商品開発にも挑戦します!是非皆さんも国際色豊かな青森県三沢市に来てみて下さいね!

長野県高森町

南信州 SBP クラブ

南信州の未来に向けて、  
地域の魅力発信に挑戦!



南信州 SBP クラブは小中学生・高校生が集まって活動しています。2年目を迎え、メンバーも増えて賑やかです!「柿丸くん焼き」は、地元の皆さんに喜んでもらえるようになってきました。今後も色々なことに挑戦して地域の魅力を発信したいので、皆さんの取り組みを見学して勉強させていただきたいです!

IX コミュニティ

伊勢志摩地域を SBP で元気に!



IX コミュニティは、IX ホールディングス株式会社と一般社団法人未来の大人応援プロジェクトが共同して運営を行う、2023年10月に発足したコミュニティです。伊勢志摩地域(=I)を新しい時代に向けて力強くトランスフォーム(=X変革・変身)させたいという思いで、若者が伊勢志摩の地域課題に対し、SBPの実践を行っています!

学年も学校も異なる高校生や大学生等100人以上がグループに分かれて活動中!

学校法人佐賀清和学園

佐賀清和高等学校

SBP を取り入れた授業を実施



佐賀清和高校は佐賀県にある私立学校です。明治44年の創立以来、受け継がれる伝統として「和顔愛語」を実践目標として生徒たちは明るい笑顔と思いやりのある優しい言葉遣いで、礼儀正しい生活を心がけています。現在、SBPの考え方を取り入れた授業も4年目となり1年生から3年生までそれぞれの取り組みを通年で実施しています。



伊勢志摩、  
という教科書。

皇學館大学 皇學館高等学校 皇學館中学校  
三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201(代表) <https://www.kogakkan.ac.jp>

お客様に必要とされる  
会社を目指して  
Inside Brain

印刷 広告 ホームページ 動画

株式会社 アイブレン  
本社 〒516-0017 三重県伊勢市神久3丁目5-67  
TEL 0596-27-1111 FAX 0596-23-0125  
<http://IBRAIN.mie-net.ne.jp>

伊勢名物 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地  
電話 0120-081-381  
<https://www.akafuku.co.jp>

Changing the world through personalized digital experiences

イメージしてアイデアを  
表現する

コンテンツとアプリを  
制作する

デジタル体験を  
パーソナライズ&強化する

学生 消費者 コミュニケーター クリエイティブプロフェッショナル デベロッパー 中小企業 エンタープライズ

今までも、これからも。  
私たちにできること。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SYD

みんなの幸せを願う「幸せの種まき運動」を  
全国的に展開しています

SUPPORTING YOUR DREAMS

SYD 伊勢青少年研修センター  
伊勢市宇治今在家町153  
TEL 0596-25-0265  
FAX 0596-25-0309  
HP <https://syd.or.jp/ise/>

ZURICH  
チューリッヒ生命

〒164-0001  
東京都中野区中野4丁目10番2号 中野セントラルパークサウス16階  
電話(代表): 03-6832-1101

十和田の野菜がおいしいコミュニティカフェ

ハピたの かぶえ

(特) 十和田NPO子どもセンター・ハピたの  
青森県十和田市稲生町16-43 Tel/FAX 0176-23-0853  
～地域で子どもを育てよう～

NARUMI  
三重ナルミ株式会社  
〒517-0218 三重県志摩市磯部町築地 1524-1 Tel 0599-55-2113

NEXCO  
NEXCO 中日本サービス株式会社  
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-18 岡谷鋼機ビル5F  
☎052-222-9991 https://c-nexco-svc.jp/

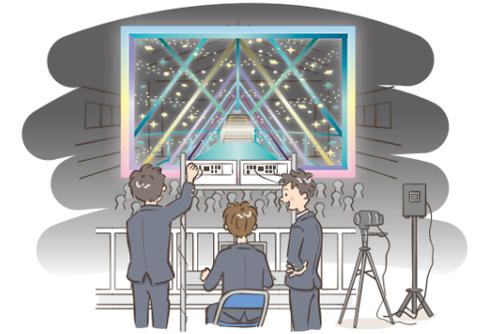
0→1  
MAKE IT HAPPEN  
三井化学  
www.mitsuichemicals.com

IT × 教育で地域を「元気」に。  
地域活性をITとデザインで支援  
地域課題へのIT技術の活用 / システムエンジニア研修・プログラミング教育  
miraico.co.jp  
みらいこ株式会社  
〒516-0074 三重県伊勢市本町8-11 info@miraico.co.jp

BSよしもと  
- BS265ch -  
テレビでもスマホでもPCでも  
無料でBSよしもと!  
絶賛放送中!!  
bsy.co.jp

人と地域に  
寄り添い  
同じ未来を  
見つめる銀行。  
お気軽にご相談ください。  
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》  
百五銀行  
FRONTIER BANKING  
インターネットホームページhttps://www.hyakugo.co.jp/

味にまじめ  
素材にまじめ  
たいやき  
わらしべ



調査業務  
コンサルティング業務  
会員制度  
主な定期刊行物  
幅広い分野で、  
お客さまのニーズに  
お応えします。  
HRI 株式会社  
百五総合研究所  
TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380  
URL https://www.hri105.co.jp/ E-mail info@hri105.co.jp

FARVAL  
「新しいあたりまえ」で、  
新しい世界を創る

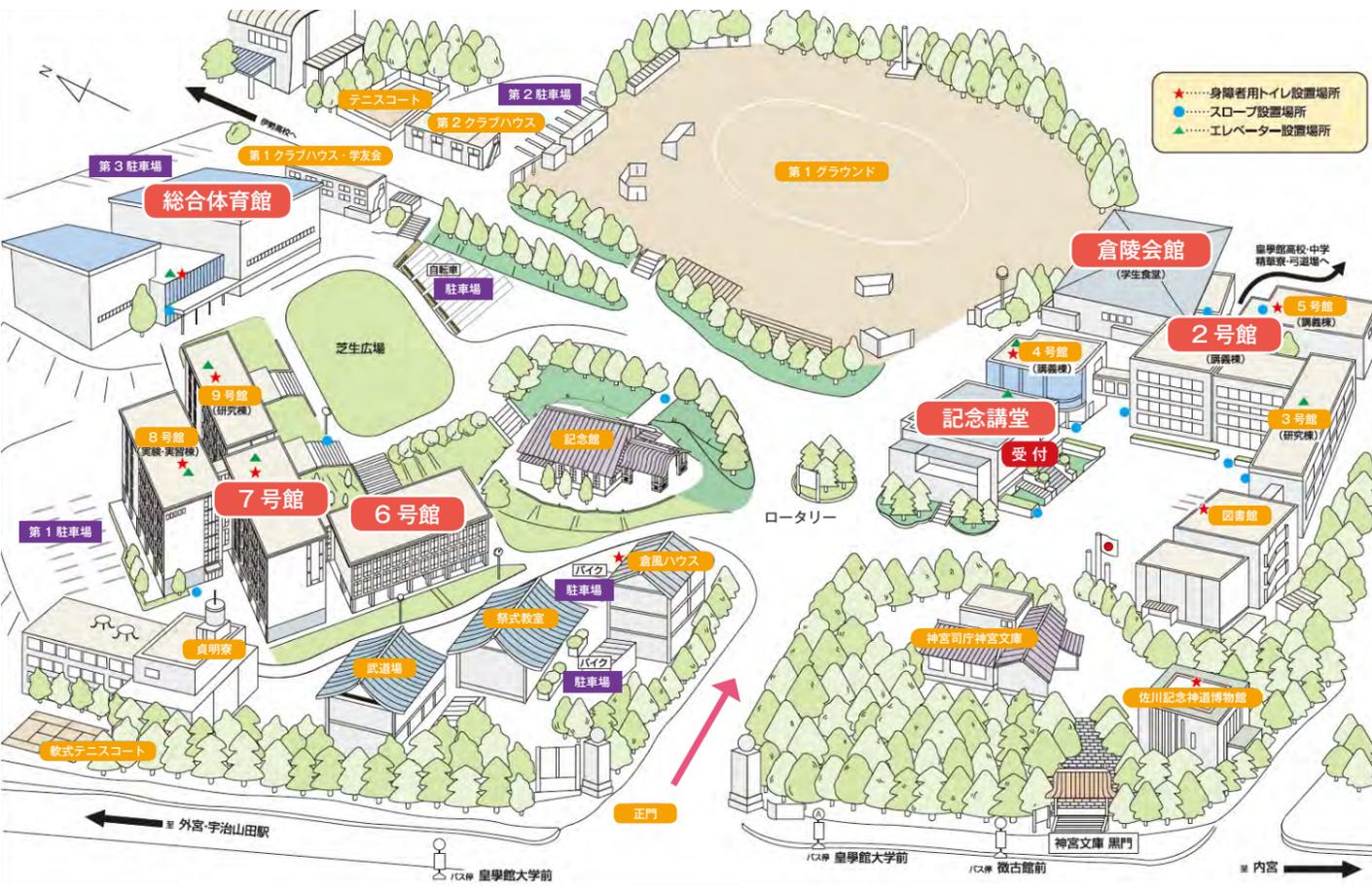
FUJIFILM  
Value from Innovation  
富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン(株)  
〒514-8578 三重県津市栄町 1 丁目 817 番地  
TEL 059-228-7561

荷物とともに、あなたの想いを運びます。  
TORUK!  
〒513-0821 三重県鈴鹿市地子町 523-2  
TEL : 059-384-0003  
https://www.toruki.co.jp/

これまでのSBP協賛企業様一覧 (50音順です。)

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、アサヒビール株式会社、株式会社アイブレーン、アドビ株式会社、株式会社アンジャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、株式会社いち、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美ing (ウエルビーイング)、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うおすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社 NTT ドコモ、株式会社 O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット (せんぱいの店)、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グーグル合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、株式会社グラノ24K、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケココ共和国、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社セブン銀行、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、チューリッヒ生命保険株式会社、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、特定非営利活動法人十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの、株式会社中村製作所、鳴海製陶株式会社、日経三勢会、人源輝業塾、NEXCO 中日本サービス株式会社、万協製菓株式会社、番頭舎、BS よしもと株式会社、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社 (ファーウェイ・ジャパン)、株式会社フォーバル、富士ゼロックス三重株式会社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社プラトンホテル、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マサヤ、株式会社マサグループ本社、マルシェ株式会社、三重県教育工学研究会、三井化学株式会社、三菱商事株式会社、みらいこ株式会社、株式会社レオパレス21、株式会社 LOCK、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重県立伊勢工業高等学校、三重信用金庫相可支店、三重執鬼株式会社、株式会社ミエライス、morockme、有限会社山春商店、ユナイト三重株式会社、ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社、有限会社わらしべ

# 会場 MAP



## 記念講堂

8月19日(火)

ロビー  
○受付

講堂  
○プログラム2 開会式  
○SBP アワード 代表発表会  
○第10回記念イベント  
『NS<sup>2</sup>BP(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)による演劇』

8月20日(水)

ロビー  
○受付

講堂  
○表彰式  
○プログラム2 閉会式

## 総合体育館

8月19日(火)

実践発表交流会  
○メインステージ  
○出展ブース①~⑭  
○本部席・休憩席

## 倉陵会館

8月19日(火)

学生食堂  
○審査員控室  
○夕食会場

8月20日(水)

学生食堂  
○WS1(Sの絆焼き)  
○昼食会場  
○プレゼンターと受賞団体の交流

## 7号館

8月20日(水)

1F 711 教室  
○WS5(缶バッジづくり)  
1F 712 教室  
○WS2(オンリーワンマグ作り)  
3F 731 教室  
○WS3(レクリエーション)

3F 732 教室  
○WS4(SBPカードゲーム)  
3F 733 教室  
○WS6(SBPセミナー)

# 全国高校生 SBP 交流フェアのあゆみ

全国高校生 SBP 交流フェアは今回で10年目の開催となります。これまでに延べ270団体、3,700名の参加を頂きました。今回、第10回の記念大会を迎えるにあたり、これまでのSBP交流フェアのあゆみと参加校、お祝いメッセージを紹介します。



## 第1回 2016年開催

○料理部門  
○SBP チャレンジ部門  
会場 三重県南伊勢町 三重県伊勢市  
参加数 11団体 400名

初開催はSBP発祥の地である南伊勢町で開催。料理部門とSBPチャレンジ部門がありました。



## 第2回 2017年開催

○料理部門  
○SBP チャレンジ部門  
会場 皇學館大学 三重県伊勢市 三重県立相可高等学校  
参加数 24団体 366名  
文部科学大臣賞 静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班

皇學館大学での開催。文部科学省が共催となり、初の文部科学大臣賞が授与されました。



## 第3回 2018年開催

○料理部門  
○SBP チャレンジ部門  
会場 皇學館大学 しんみち商店街 三重県立相可高等学校  
参加数 31団体 434名  
文部科学大臣賞 浜松学芸中学校・高等学校 はままつ胸キュンプロジェクト

高校生たちの発表の場として、伊勢市駅近くのしんみち商店街で夜の市を実施しました。



## 第4回 2019年開催

○SBP チャレンジアワード  
会場 皇學館大学 しんみち商店街 三重県立相可高等学校  
参加数 34団体 500名  
文部科学大臣賞 福島県立ふたば未来学園高等学校 社会起業部カフェチーム

出場団体が増え、SBPチャレンジアワードが増え、SBP交流フェアのメインとなりました。



## 第5回 2020年開催

○SBP チャレンジアワード  
会場 オンライン  
参加数 32団体 300名  
文部科学大臣賞 愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP班

コロナ禍により現地開催が困難に。試行錯誤の中、完全オンラインでの実施を決行しました。



## 第6回 2021年開催

○SBP チャレンジアワード  
会場 オンライン  
参加数 32団体 250名  
文部科学大臣賞 熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校SBP部

第5回に続き完全オンライン。本選の仕組みがオンライン審査になるきっかけとなりました。



## 第7回 2022年開催

○SBP チャレンジアワード  
会場 オンライン 皇學館大学  
参加数 36団体 450名  
文部科学大臣賞 中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ

コロナ明けの初の現地開催。同時に高校生たちも初のリアルでの交流ができました。



## 第8回 2023年開催

○SBP アワード チャレンジ部門  
○プレミア部門  
会場 オンライン 皇學館大学 ハリウッド美容専門学校  
参加数 37団体 500名  
文部科学大臣賞 沖縄県西原町 NS<sup>2</sup>BP(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

SBPのモデルケースを発表するプログラム3「プレミアステージ」を新設し、東京六本木にて開催しました。



## 第9回 2024年開催

○SBP アワード チャレンジ部門  
○プレミア部門  
会場 オンライン 皇學館大学 ハリウッド美容専門学校  
参加数 34団体 500名  
文部科学大臣賞 愛媛県松野町 一般社団法人マツノイズムプロジェクト

第8回に引き続きプレミアステージを実施。プレミアステージではSBPの授業をモデル発表。



## 第10回 2025年開催

○SBP アワード チャレンジ部門  
○プレミア部門  
会場 オンライン、皇學館大学、学校法人メイ・ウシヤマ学園 ハリウッド大学院大学  
参加数 36団体 500名

10年目を迎える10回目の記念大会。沖縄県西原町 NS<sup>2</sup>BPが記念公演を上演。

\*全国高校生SBP交流フェアの前身である「全国高校生“S”の交流フェア」(第1回~第3回、三重県多気郡多気町にて開催)を含めると今回で13年目となります。

# これまでに SBP に関わっていただいた全国の 高校・団体

## 中部ブロック (27)

新潟県立海洋高等学校、富山県立滑川高等学校 びーりっちょ、富山県立滑川高等学校 業業科、長野県白馬高等学校 国際観光科、長野県立飯田高等学校 南信州みらい創生塾、長野県高森町 南信州 SBP クラブ、静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班、静岡県立島田商業高等学校 超☆珠算部、静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO、静岡県立島田工業高等学校、静岡県立韮山高等学校、静岡県立駿河総合高等学校 駿河WANプロジェクト、静岡県立浜松城北工業高等学校 料理調理研究部、浜松学芸中学校高等学校 社会科学部地域調査班、浜松学芸中学校高等学校 社会科学部地域調査班・地域創造コース、浜松学芸中学校高等学校 地域創造コース、中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ、愛知県立佐屋高等学校 ゼロプロジェクト、愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動SBP部、愛知県立高浜高等学校 地域活動SBP班、岐阜県立岐阜農林高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校 森林科学科、福井県立若狭高等学校 ウニウニ大作戦、福井県立若狭高等学校 海洋プラスチック再生プロジェクト、福井県立若狭高等学校 食のまち小浜テイクアウトプロジェクト、福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ、福井県内外海海のステージ実行委員会

## コラボ (2)

浜松学芸高等学校 社会科学部地域調査班・青森県立鯉ヶ沢高校 SBP 研究会、青森中央高校・浜松学芸高等学校 合同チーム 学校紹介動画作成プロジェクト (青森県立青森中央高校、あすなろクラブ、浜松学芸高校)

宮古総合実業高校

## 九州・沖縄ブロック (17)

熊本県立天草拓心高校 天草拓心高校 SBP、熊本県立熊本農業高等学校 畜産課実験動物専攻、熊本県立農業高校 熊本農業高校 養鶏プロジェクト、熊本県立牛深高校 Team・UHS、宮崎県立飯野高等学校 すまいるMakers、宮崎県立飯野高等学校 E-GEP、佐賀県立伊万里農林高等学校 食品化学科、佐賀清和高等学校 文化教養科キャリアデザインコース、佐賀清和高等学校 文化教養科 SBP、佐賀県立伊万里実業高校 フードプロジェクト部、沖縄市内高校生プロジェクト委員会、コザ美里美来工科美里農業高等学校、沖縄県西原町 NS<sup>2</sup>BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)、沖縄県立美里工業高等学校、沖縄県立北部農林高等学校、宮古島「高校生仕事クラブ」んまがぬ家、沖縄県立宮古総合実業高等学校 地域活性化 SHARK プロジェクト

## 中国・四国ブロック (13)

徳島県立城ノ内高等学校、愛媛県立大洲農業高等学校 大農蕎麦'S (そばーず)、愛媛県立宇和島水産高等学校、愛媛県立土居高等学校 情報科学部、愛媛県松野町 森の国まつの SBP、愛媛県松野町 一般社団法人マツノイズムプロジェクト (愛媛県立宇和島東高校、北宇和高校、宇和島水産高校)、学校法人松柏学院 倉吉北高等学校 「チャレンジ」 チーム倉北、鳥取県立倉吉総合産業高等学校、高校生の店 チャレンジショップ くらそうや、島根県立吉賀高等学校地域クラブ なか吉プリン、島根県立吉賀高等学校 吉高地域クラブ、島根県立隠岐島前高等学校、山口県立山口農業高等学校

## その他 (1)

韓国国際調理高等学校

## 北海道・東北ブロック (28)

北海道留萌高等学校 情報ビジネス科、北海道留萌高等学校 商業研究会、北海道留萌千望高等学校、北海道三笠高等学校、青森県立鯉ヶ沢高等学校 鯉ヶ沢高校 SBP 研究会、青森県立中里高等学校 中里高校 SBP 同好会、青森県立木造高等学校深浦校舎 ふかうら SBP、青森県立百石高等学校 食物調理科 家庭クラブ、青森県立五所川原農林高等学校、青森県立五所川原第一高等学校 五一高じゃわめき隊、青森県立五所川原商業高等学校 商業クラブ、青森県立三本木農業高等学校 農業クラブ執行部、青森県立三本木農業高等学校・青森県立三本木農業恵拓高等学校 農業クラブ執行部、青森県立三本木農業恵拓高等学校 探究部、青森県立十和田工業高等学校、青森県立十和田西高等学校、青森県立六戸高等学校 生徒会、青森県立青森中央高等学校 あすなろクラブ、秋田県立秋田北鷹高等学校、宮城県仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部、岩手県立盛岡農業高等学校 モウモウ☆Te e n s、福島県立ふたば未来学園高校 未来創造探究ゼミ、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 未来創造研究 アグリビジネス研究ゼミ、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 社会起業部カフェチーム、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 スペシャリスト系列【商業】、山形県立酒田東高等学校 課題研究グループ (米こーラボ)、山形県最上地域 地域開発チーム WATS (山形県立新庄北高等学校・山形県立新庄南高等学校・羽黒高等学校)、福島県立小名浜海星高等学校 商業部

## 関東ブロック (10)

栃木県立那須拓陽高等学校 拓陽 SOY プロジェクト、栃木県立那須拓陽高等学校 SoyPro 同好会、茨城県立水戸桜ノ牧高等学校、埼玉県立寄居城北高等学校、神奈川県立川崎高等学校 養蜂部、横浜市立横浜総合高等学校、横浜市立横浜総合高等学校 横浜総合高校企画部、三浦学苑高等学校 普通科特進コース 三浦学苑ポスター、明星高等学校 明星 MHT、明星高等学校 明星フェアトレ愛好会

## 近畿ブロック (43)

滋賀県立八幡商業高等学校 ビジネス研究同好会、滋賀県立安曇川高等学校 未来のびわ湖応援隊、三重県立桑名西高等学校、三重県立四日市商業高等学校、三重県立松阪商業高等学校、三重県立松阪商業高等学校 松阪商業 SBP、三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR、三重県立白山高等学校、津田学園高等学校 高校生みえ創造サミット2022チーム、三重県立あけぼの学園高等学校 スポーツレクリエーション、三重県立あけぼの学園高等学校 製菓製パン部、三重県立伊勢工業高等学校 美術部 SBP 班、皇學館高等学校 皇學館 SBP 班、三重県立明野高等学校 生産科学科畜産専攻、三重県立明野高等学校 あかりのプロジェクト、英心高等学校 Team SBP、三重県立泉学園高等学校 泉学園 SBP、三重県立泉学園高等学校 農業クラブ、三重県立飯南高等学校 応援團 Circle、三重県立飯南高等学校 美術部、三重県立相可高等学校 生産経済科 NPO 法人植える美 ing、三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ、三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校 SBP、三重県立南伊勢高等学校 学生会舎 SBP、三重県立南伊勢高等学校学生会舎 南伊勢高校 SBP、三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP、三重県立水産高等学校 水高 SBP、三重県立紀南高等学校、三重県立紀南高等学校 紀南高等学校東紀州学、三重県立紀南高等学校 きにゃんプロジェクト、三重県立紀南高等学校 防災きにゃんプロジェクト、三重県立紀南高等学校 JRC 部、IX コミュニティ 福祉グループ (三重県立泉学園高校、英心高校)、IX コミュニティ 福祉グループ (セントヨゼフ女子高校、宇治山田商業高校)、IX コミュニティ 福祉グループ (伊勢志摩地域高校生グループ)、京都府立須知高等学校、京都府立海洋高等学校 食品経済コース、京都府立海洋高等学校 海洋資源科食品経済コース、大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト実行委員会、大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト、大阪府立東住吉総合高等学校、和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」、関西インターナショナルハイスクール OtoOne (おとわん)

※未来の大人応援プロジェクト独自調べ

既に廃校になった学校や活動を休止している団体も含み、SBP 交流フェアへ見学に来ていただいた高校や団体も記載しています。団体名称は出場・参加時のものであり、現在と異なる場合があります。

# 10周年メッセージ

- ① SBP 交流フェアや高校生たちの取り組みで印象に残っていること
- ② 10周年に寄せてのメッセージ

## 相川 貴志 株式会社フォーバル



フォーバルは第8回からSBP交流フェアに参加させていただいておりますが、特に印象深いのは昨年の第9回でフォーバル賞を贈呈した仙台商業高校の皆さんによる丸森町を元気にする取り組みです。東日本大震災や令和元年台風19号で甚大な被害を受けた丸森町のために何かしたいという熱い思いから、地域の特産品を使った商品開発に取り組んでいました。

小麦アレルギーの方も食べられるよう宮城県産米粉を使用したグルテンフリー麺に、通常は廃棄されてしまう丸森産たけのこを練り込んだ「たけのこ麺」は、たけのこの風味と米粉特有のつるつるもちもちとした食感が絶妙で、その独創性と完成度の高さに感動しました。その後も「商業高校フードグランプリ」で2つの賞を受賞されるなど、地域貢献への情熱と高校生の実績が実を結んだ素晴らしい活動でした。

②全国高校生SBP交流フェアの10周年、心よりお祝い申し上げます。これまでの10年間で、多くの高校生たちが地域課題に真摯に向き合い、大人顔負けの素晴らしいアイデアと実行力で社会に貢献してきた姿に、毎回深く感銘を受けています。

フォーバルは、これからも未来を担う高校生たちの社会貢献活動を応援し続けたいと考えております。彼らの情熱と努力が日本全国に広がり、さらに多くの人々を巻き込んでいってほしいと、今後もますます発展していくことを楽しみにしております。

## 加納 宏徳 アドビ株式会社 Web マーケティングマネージャー



①私は2024年に初めて審査員として参加させていただきました。校舎を飛び出し、実際のビジネスの現場に果敢に挑戦する高校生皆さんのエネルギーと創造力に、心より感銘を受けました。中でも、ダンスチーム「SERIOUS FLAVOR」のみなさんの取り組みは非常に印象的でした。ダンスという表現を通じて、企業や商品の魅力をどのように伝えるか真剣に考え、納得のいく成果を目指してチームで試行錯誤を重ねる姿勢は、まさにプロフェッショナルそのものでした。そのクリエイティブな姿勢と情熱に敬意を表し、アドビ賞をお贈りいたしました。

私自身も新規事業開発に携わっており、日々、アイデアを形にする難しさや、仲間とともに挑戦する大切さを実感しています。皆さんがSBPのプロジェクトを通じて得た経験は、これからの人生できっと貴重な財産になるはずです。今後も、皆さんの挑戦を心から応援しています。また、私たちも皆さんから刺激を受けながら、より良い未来を共に創っていかねばと願っております。

②このたびは10周年という大きな節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。2024年に初めて審査員として参加させていただき、初めてSBPの活動を知りました。十人十色のやり方で新しい事業に挑戦している高校生の方に、とても勇気をもらいました。私自身も新規事業開発に携わっており、日々、アイデアを形にする難しさや、仲間とともに挑戦する大切さを実感しています。皆さんがSBPのプロジェクトを通じて得た経験は、これからの人生できっと貴重な財産になるはずです。今後も、皆さんの挑戦を心から応援しています。また、私たちも皆さんから刺激を受けながら、より良い未来を共に創っていかねばと願っております。

## 高橋 真 BSよしもと株式会社



①毎年、BSよしもと賞を受賞された学校の生徒の皆さんには弊社の番組（小倉淳の47フォーカス）にご出演いただき、取組の発表をお願いしています。これまで出演いただいた3校（三重県立明野高等学校、富山県立滑川高等学校、熊本県立熊本農業高等学校）の取組内容はそれぞれに特色があり、地域を活性化させたいという熱量が伝わってきました。

今年も受賞された学校の取組への熱量が多くの方々に伝わるように番組で発信していきますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 福田 圭 有限会社わらしべ



①たいやきワークショップで、毎年全国からの学生さんと一緒にさせて頂いております。大忙しで、学生さんの力を借りないと成り立たないワークショップなのですが、Sの焼焼き経験者の学生さんが、汗を流しながら初めての学生さんにレクチャーしてくれる姿が本当にカッコイイです。

自分の役割を理解し、足りないところにさりげなく入ってくれ、そんな先輩を見て後輩が学ぶ。そして1年後、びっくりするほど逞しい姿を見せてくれます。②10周年、誠にありがとうございます。SBP未来の大人皆さん、大人の皆さんの取り組みを拝見すると、いつも心が震えます。毎日業務をこなしていると、つい忘れそうになる「どうして、この仕事をしているんだっけ?」という、とても大切な志を思い出させて頂くからかと思えます。地域を良くしたい、成長したい、お客様に喜んで頂きたい、メンバーに喜んでもらいたい。大変な事も多々あると思いますが、こんな想いがあるから、楽しそうで、キラキラしているのかなと思います。私も大人として、そんな社会を創る一員でありたいと思わせてくださって、本当にありがとうございます。益々のご発展を心より祈念申し上げます。

③10周年、誠にありがとうございます。SBP未来の大人皆さん、大人の皆さんの取り組みを拝見すると、いつも心が震えます。毎日業務をこなしていると、つい忘れそうになる「どうして、この仕事をしているんだっけ?」という、とても大切な志を思い出させて頂くからかと思えます。地域を良くしたい、成長したい、お客様に喜んで頂きたい、メンバーに喜んでもらいたい。大変な事も多々あると思いますが、こんな想いがあるから、楽しそうで、キラキラしているのかなと思います。私も大人として、そんな社会を創る一員でありたいと思わせてくださって、本当にありがとうございます。益々のご発展を心より祈念申し上げます。

④10周年、誠にありがとうございます。SBP未来の大人皆さん、大人の皆さんの取り組みを拝見すると、いつも心が震えます。毎日業務をこなしていると、つい忘れそうになる「どうして、この仕事をしているんだっけ?」という、とても大切な志を思い出させて頂くからかと思えます。地域を良くしたい、成長したい、お客様に喜んで頂きたい、メンバーに喜んでもらいたい。大変な事も多々あると思いますが、こんな想いがあるから、楽しそうで、キラキラしているのかなと思います。私も大人として、そんな社会を創る一員でありたいと思わせてくださって、本当にありがとうございます。益々のご発展を心より祈念申し上げます。

⑤10周年、誠にありがとうございます。SBP未来の大人皆さん、大人の皆さんの取り組みを拝見すると、いつも心が震えます。毎日業務をこなしていると、つい忘れそうになる「どうして、この仕事をしているんだっけ?」という、とても大切な志を思い出させて頂くからかと思えます。地域を良くしたい、成長したい、お客様に喜んで頂きたい、メンバーに喜んでもらいたい。大変な事も多々あると思いますが、こんな想いがあるから、楽しそうで、キラキラしているのかなと思います。私も大人として、そんな社会を創る一員でありたいと思わせてくださって、本当にありがとうございます。益々のご発展を心より祈念申し上げます。

## 東 孝浩 三重ナルミ株式会社 代表取締役社長



①私は昨年初めて参加させて頂きました。高校生皆さんの積極的な行動に感動しました。「とにかく前向きで元気!」お陰様でIXコミュニティ(福祉グループ)様とはご縁を頂き、弊社のNARUMIマルシェにも出店のご協力を頂いています。弊社も新たな発見や学びを一緒に見つけて行きたいと感じさせて頂きました。

②昨年初めて参加させて頂きましたが、もう10周年を迎えられるとのおめでどうございます。そして、ここまで支えてこられた皆様に感謝申し上げます。この素晴らしい出会いの場と経験をさせて頂き、微力ながら弊社も参加させて頂き未来の子供たちの成長を後押しすることに繋がるとを期待いたします。是非、未来の子供たちの目線と弊社のモノづくりが融合し新しいモノづくりに繋げて行きましょう。

## 小役丸 秀一 株式会社グラノ 24K



①高校生たちが地域の未来について考え、どうすればより良い地域になるか、課題は何か、部活動や住んでいる地域の垣根を超えて、真剣なまなざしで取り組む姿勢に感動を覚えました。何より、若々しい皆様の熱い答弁は、私たちにとっても活力をもたらしてくれました。この日を迎えるまで、全てが楽しく面白くはばかりではなく、大変なことやつらいことや悔しいことも多く経験したと思います。しかし、その経験こそが、自分自身が大人になって、今身近にいる大人の中に入り込んでいく過程で、何物にも代えがたい財産になっているはずです。今後も、皆様でチカラを合わせて地域を盛り上げてくださいます。未来の大人のはじまりです!

②未来の大人応援プロジェクト10周年、誠にありがとうございます。地域のために頑張る高校生たちはもちろん、運営陣の多くの大人の方の並々ならぬアドバイスやサポート、そして熱い想いがあるからこそ10年と思います。運営の皆様、いつも本当にありがとうございます。今後も、益々のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 中野 拓治 琉球大学

①NS'BPの立ち上げ(2014年)と高校生自身による自発的な活動ができるようになるまでの5年間を主に取組に関わ

ることができました。「三重県相可高校」、「北海道三笠高校」などの先進的な活動組織へのNS'BPのメンバーとの訪問や沖縄県外からのSBP活動実践高校生とのイベントを通じて、楽しく交流活動をさせて頂いたことが昨日のように思い出されます。お陰様で、NS'BPも昨年、結成10周年記念「全国高校生SBP交流フェアin西原」を開催し、盛会に終えることができました。岸川さんとは、第2回全国SBP交流フェアの開催に向けて、共催の文部科学省の皆さんと熱のこもった議論をしたことが懐かしいです。皆様と素敵な時間を共有させて頂き、ありがとうございます。



②全国高校生SBP交流フェア、10周年、誠に、おめでとうございます! SBP活動に参加されている高校生の方へ。「高校生が社会と繋がりがながら協働し、自らのステージを生み出し躍動するSBPの実践を通じて、大きな夢を思い描き、そしてその夢を現実化しましょう。夢を追いかけながら、その途中の景色も楽しみましょう。過去に戻って過去を変えることはできませんが、今いる場所から始めて終わりを覚悟することはありません。地域の歴史・文化に対する誇りに気づくことで普段の学校生活では体験できない自主的なSBP活動の取組を通じて、高校生皆さんの成長と地域の誇りや活力の向上に更に寄与することを期待しています。これからも応援しています。

## 田口 恭平 アドビ株式会社



①過去に行かせて頂いたワークショップではとても意欲的に参加頂き、私たちも学ぶことが多かったです。また球児たちの甲子園のように何でも目指すべきところ、として認識されて受け継がれている点もこの時期が来る度、とても印象深く感じています。②10周年おめでとうございます。弊社は以前より審査員として関わらせて頂いておりますが、歴代の審査員メンバーからいつも高校生たちから大きな刺激を頂くと言っておりました。今後も微力ながら応援できればと思います。

## 欽矢 悦朗 東京学芸大学 教授 / NPO 法人東京学芸大子ども未来研究所 副理事長



①たい焼き器を軸に地域への取り組みを全国の高校に広げていこうという活動や、地域の魅力は観光スポットではなく、日常の暮らしの中にあるという考えを他の高校と共有して伝播させていくなど、高校間の情報共有・交流がすばらしい。何よりもそれが実際の行動につながっていることが言葉で言い表せないくらい秀でた挑戦なのだ。挑戦を通じて「悔しい学び」や「惜しい学び」がたくさんあったと思う。その一つ一つが、次の一つにつながっている。

②10周年、この活動の継続を支えてきた皆様とともに喜びたいと思います。この10年の道は地震や豪雨災害、そして新型コロナウイルスの蔓延など、平坦ではなかったでしょう。でもこの期間内にくつろぎながら高校生たちが輝いたことは素晴らしい財産です。この10年の工夫はこの実行委員の素晴らしい保証はありまじかと思えます。これからの道も平坦である保証はありまじかと思えます。これからの道も平坦である保証はありまじかと思えます。今後高校生を面白く取り組むに光を当てていってください。10周年、おめでとうございます。

## 小村 俊平 ベネッセ教育総合研究所 統括責任者・教育イノベーションセンター長



①高校生の探究・研究コミュニティは私自身2011年から継続していますが、地方部発でかつ専門高校の生徒を中心に運営されるSBPのあり方に衝撃を受けました。きっかけと適切なサポートがあれば彼ら彼女らが活躍する場はたくさんあると実感しました。高浜高校が全国から受注したことは印象に残っており、時々講演でエピソードとして使わせていただいています。②SBPは、高校生が地域の課題に真正面から向き合い、大人を巻き込みながら変革を生み出す素晴らしい取り組みだと思います。この取り組みを10年続けてこられた岸川先生を

はじめ関係者の皆さんの挑戦に敬意を表します。10年で積み重ねられたOBOGや協力者のネットワークは、これからSBPがさらに発展していくための鍵になると思います。次のステージがどのような形になるかを楽しみにしています。

## 荒木 康行 株式会社ちとせ 特別顧問



①長年にわたり後輩に引き継ぎ、持続的に進化しているという観点から3校をあげます。まず高浜高校、Sの焼焼きの他地域展開。高浜市の伝統技術である瓦職人と自動車部品工場と連携。タツヤ焼きプロジェクトや商品販売で得た収入で子供たちをBリーグに招待するなど。SBPをハイレベルで真面目に実践し、継承していることが凄い。次に浜松学芸高校、地域の浴衣産業衰退に歯止めをかけるため、毎年様々な取り組みを行っている。浴衣生地で制服制作、PRポスターや動画制作、浴衣パフォーマンス(アイドル活動、盆踊りなど)。制作物やイベントの完成度が高く、プロフェッショナルなプレゼンも凄い。最後に沖縄県西原町NS'BP、西原町在住の高校生が郷土愛を育むため地域資源を活用しての取り組み。商品開発販売、演劇、国際交流、さとうきび農業体験など。沖縄県内の違う高校に通いながら強い絆で情熱溢れる取り組みに感動しました。②第1回から審査員をしています。毎年驚きと感動の連続です。大人の想像を超えるアイデアが出てくることは大変興味深いものです。本フェアは10周年になりますが、思い返せばそれ以前に南伊勢高校で全国初のSBP、町のゆるキャラのたい焼き「たいみー焼き」と地元特産品を詰め込んだ「セレクトギフト」が生まれています。たい焼きの金型は沖縄県の美里工業高校の生徒が作ってくれたと聞きます。こうした仲間の協力や南伊勢町の理解があってSBPがスタートしたことを忘れてはならないと思います。岸川代表および関係各位に改めて敬意を表します。

## 中沢 洋子 (特)十和田NPO子どもセンター・ハビタの



①全国の高校生のみなさんの取り組みは毎回感動しています。取り組みの他にも、最近、印象に残っているのは、当日進行してくれた高校生が最後に感想を話す場面で「私の言葉で伝えたい」と話し、準備された進行表の挨拶を見ずに自分の言葉で感動を伝えて、涙ぐむ場面がありました。私もその場面に感動して思わず、声をかけてしまいました。進行した高校生が感動するほど、そんな、場面がたくさんあったフェアでした。②10周年おめでとうございます! 岸川さんをはじめ、社団のみなさんの想いに心から敬意を表します。全国の高校生の一一人輝く場を提供していただき、成長していく様子を毎回心から感動しています。商品開発もさることながら、こんな自分が大勢の前で話せるようになった、自分に自信が持てたこと自己肯定感にもつながり、「生きる」につながることが言葉で言い表せないくらい秀でた挑戦なのだ。挑戦を通じて「悔しい学び」や「惜しい学び」がたくさんあったと思う。その一つ一つが、次の一つにつながっている。

## 新田 均 皇學館大学



①個々の取り組みへの印象というよりも、地域の課題に向き合いながら、様々な工夫を凝らして、社会に貢献しようとする高校生の姿そのものに毎回感動してきました。高校生だけでなく、彼等の取り組みを支えておられる大人の方々に敬意を表したいと思います。特にこの取り組みを長く続けて来られた学校や団体には、その裏に多くの困難とそれを乗り越える並々ならぬ努力があったのではないかと拝察します。②SBP交流フェアが10周年を迎えたという、もうそんなに時が経ったのかというのが率直な感慨です。多気町で「Sの交流フェア」の名称で行われていた取り組みが、皇學館大学を会場として新たな名称で行われるようになったのは、岸川政之さんが本学で「公共政策論」と「地域再生論」の授業を持たれるようになったのが切っ掛けでした。その後、岸川さんは特命教授となり、「未来の大人応援プロジェクト」を立ち上げ、SBPの活動が全国に広がり、文部科学省からの教育効果が評価され、教育再生実行会議の政策提言にも取り上げられるまでになりました。振り返れば、あつという間の出来事でした。往事に思いを馳せつつ、今後この取り組みが多くの高校生を励まし続けることを願っています。

## 藤井 恭子 皇學館大学現代日本社会学部教授



①最も心に残ったことは、高校生たちの熱意と創造力です。彼らが地域の課題に対して真剣に向き合い、斬新なアイデアで解決策を提案・実践していく姿に深い感銘を受けました。また完成度の高いプレゼンテーションからも地域を盛り上げたいという強い意志が伝わりました。高校生たちの活動は、地域社会の未来を明るく照らす、まさに希望の光といえますね。②SBP交流フェア10周年、誠にありがとうございます! 地域を愛し、未来を切り拓く高校生のみなさんの姿は、私たち大人に常に大きな感動と刺激を与えてくれます。さらにこのSBPの活動は、地域に新たな活力を与えるだけでなく、持続可能な社会の実現にも大きく貢献しています。今後のさらなる展開を心から楽しみにしています。

## 武井 史織 絵本作家・OTEMBA STUDIO 代表 ~こどもに、まちに、物語と表現の場を~



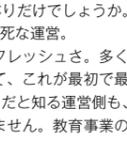
①一番心に残っているのは、運営チーム代表の高校生がクロージングで語った言葉です。それまでは台本を読み上げていたので、最後までそうだと思っていたら、彼女は自分の言葉で話し始めました。「このイベント二日間の運営を担って、あまりに問題だらけで大変で、何度も辞めたいと思いました。それでもなんとかここまで頑張れて、今思うこと。それは、私たちのやりたいことを本気で支えてくれる大人がいる。信じられる大人がいるということです。そんな大人の人たちに会えたことです。私たちもこれから先、岸川先生たちのような大人になりたいと思います。」今思い出しても胸が熱くなるほど、彼女の真っ直ぐな言葉に、感動しました。②10周年おめでとうございます。継続は力なりですね! 私は7年間動いた大企業を離れ、子どもたちの心の栄養になる作品や表現の場を届けたいと思い、OTEMBA STUDIOを立ち上げました。未来は誰にもわかりません。だからこそ、大人の言うことは半分にして、自分の五感で体験し、頭で考え、心の声を大切に、自分で決めてください。その積み重ねが「まだ知らない自分」との出会いに繋がるから。私も旅の途中。一緒に楽しみましょう!

## 澤谷 浩介 株式会社日本総合研究所 首席研究員



①SBP交流フェアの印象と言えば、暑い、熱い、厚い、アツい。真夏の伊勢路は、木々の茂った皇學館大学キャンパスです。どのおもいのです。なぜか毎年ピーカンで、夕立も降りません。そこに集まった高校生たちも、発表会場などではおとなしめですが、夕方からの高校生同士の交流イベントは熱気がもみむみ。もう還暦になった私は、遠めに見て聞かないようにしていますが、全国から集まる交流は、それは楽しいです。そして厚いのは、高校生たちが一生の経験を積めるようにがんばる、若いスタッフの皆さんの気配りと、審査員をはじめとしたオトナたちの温情。とりわけ、ついこの間まで高校生だった大学生諸君の、裏方としての努力は凄いものがあります。そして、こんな暑くて、熱くて、厚いイベントを切りまわす、大人の未来プロジェクトの皆さんのアツさときたら、触ると火傷するくらいです。今年もまたアツアツの真夏がやって来るのですね。②あつという間に立ってしまっ10年。かなり最初の頃から関わらせていただいた私も10年、歳を取りました。変わらなはははは(シニア)さんの若々しい語りかけでしょうか。あとは相可高校の生徒たちの、マジメで必死な運営。いやもう一つ変わらなはははは、高校生フレッシュユ。多くの生徒にとっては、何周年でも関係なく、これが最初で最後の経験です。一年一年が一期一会の節目だと知る運営側も、毎年前年以上の努力を続けなくてははいけません。教育事業の醍醐味というべきでしょうか。

## 太田 憲明 (一社)未来の大人応援プロジェクト/株式会社 On-Go



①生徒たちの活動を見させていただいて、彼らの成長を肌で感じる事ができたこと。彼らの地を訪れて、彼ら彼女らの夢にチャレンジするキラキラした真摯なワクワクする姿勢に直接触れることで、自分こそ刺激を受けて、それからの1年、自分がプロデュースする企画もどんどんキラキラ輝いていきます(笑)。今年もそんな楽しみなワクワクする夏がやって来ましたが、これからのみんな、夢をキラキラ叶えて行きましょー!!

話す内容もですが、人とのやりとりに対する姿勢の変化に驚かされています。②SBP交流フェア10周年おめでとうございます。(一社)未来の大人応援プロジェクトの一員として、Sの交流フェアも含めると13年以上SBP活動に関わらせていただき、高校生の方々と一緒に幸せな時間を過ごさせていただきました。私の立場も、行政職員からソーシャルビジネス(さかさま不動産)を運営する株式会社の役員と変わりましたが、今後も皆さんと一緒にSBP活動に関わらせていただけたらと思っています。高校生皆さんの応援団であり、ファンである私が、お力になれることがありましたら、お気軽にお声がけください。

## 徳野 貞雄 徳野スクール農研研究所 (熊本大学名誉教授)



①SBP活動を行っている高校生の多くが、「①真面目に友達とディスカッションをすること。②イベントに参加して体は疲れるが、充実感がたまる。③学校以外の人(先生・生徒以外)たちと協力し合える経験が素晴らしい。」と答えていたことである。②10周年の交流フェアの継続は、驚異的なエネルギーの放出と蓄積である。多くの若者の出会いと知見が広がり、夏の暑さにふさわしい熱気あふれる空間と人的満ちとなって夏の大人にも様々な知見と人脈を広げる場となっている。リピーターの多いスタッフは何故なのか、興味津々である。交流フェアを調べ、まとめることも非常に大事なことであり、思っています。

## 多田 祐美 三井化学株式会社



①毎年、高校生の発表を楽しみに、審査員として参加しています。初参加者の発表には試行錯誤も見られますが、回を重ねるごとに「本当にやりたいこと」が形になっていく姿にいつも深く感動しています。印象に残っている取組みのひとつは、愛知県立高浜高等学校の「Sの絆」。地元企業の協力を得てオリジナルのたい焼き金型を製作し、さらにSBPでつながった他校の希望に応じて、アイディア段階から支援して金型を製作するなど、全国の高校とつながる姿がとても素敵です。もうひとつは、愛媛県松野町の「マツノイズムプロジェクト」。高校はないけれど高校生はいるまちから、「何かやりたい!」という熱い思いで始まった活動が、一般社団法人の設立にまで発展し、町の魅力を発信して関係人口の増加につなげている姿に、地域への深い愛情と行動力を感じ、心を打たれました。どの取組も、地域とつながり、先輩から後輩へ、学校から学校へとバトンが渡り、継続的に発展する取り組みが、本当に素晴らしいです。SBP交流フェアが、さらに多くの高校生の成長と可能性を広げる場となりますように。②SBP交流フェア10周年、おめでとうございます! あきらめずに粘り強く、そして志高く、自分たちが町のために「やりたいこと」に挑戦する高校生たちの姿に、毎年心を打たれています。彼らの活動を知るたびに、「自分は志高く生きているか?」と問い直すきっかけをもらい、我々こそがもっと高校生のために最高のステージを用意すべきと、背筋が伸びる思いです。高校生が輝く町の未来は、きっと明るい。そんな輝く高校生たちをこれからも全力で応援します!

## 角田 陽一郎 パラエティープロデューサー



①浜松学芸中学校を等学校 社会科学部地域調査班の毎回の取り組みは興味深いです。彼らは広告会社の生仕組を毎回趣向を凝らして行って、私の本業(テレビプロデューサー)との関連が深いです。生徒にとっては、何周年でも関係なく、これが最初で最後の経験です。一年一年が一期一会の節目だと知る運営側も、毎年前年以上の努力を続けなくてははいけません。教育事業の醍醐味というべきでしょうか。

②10周年おめでとうございます。毎年、審査をしている自分の方が高校生の方々に教えられることが多いです。そして毎夏、伊勢の地を訪れて、彼ら彼女らの夢にチャレンジするキラキラした真摯なワクワクする姿勢に直接触れることで、自分こそ刺激を受けて、それからの1年、自分がプロデュースする企画もどんどんキラキラ輝いていきます(笑)。今年もそんな楽しみなワクワクする夏がやって来ましたが、これからのみんな、夢をキラキラ叶えて行きましょー!!